

基本設計書

病名検索システム
基本設計書

2002年11月13日 第1.9版

1	はじめに	1
1.1	本ドキュメントについて	1
1.2	背景	1
2	開発・動作環境	2
2.1	動作環境	2
2.2	開発言語、開発環境	2
2.3	本 DLL を用いた開発が行える開発環境.....	3
2.4	性能要件	3
3	機能概要	4
3.1	プログラム構成	4
3.2	表記	4
4	病名 DB アクセス基本ライブラリ	5
4.1	使用方法	5
4.2	インターフェース一覧.....	6
4.3	エラー処理.....	7
4.4	インターフェース仕様.....	8
4.4.1.	初期化	8
4.4.2.	病名ノードリスト取得.....	8
4.4.3.	病名キーワード検索.....	8
4.4.4.	類似病名検索	9
4.4.5.	良く使う修飾語検索.....	9
4.4.6.	接続修飾語区分取得.....	9
4.4.7.	修飾語区分検索.....	9
4.4.8.	修飾語キーワード検索.....	9
4.4.9.	修飾語ノードリスト取得.....	10
4.4.10.	修飾語ジャンプドロップダウン項目取得.....	10
4.4.11.	病名詳細情報取得.....	10
4.4.12.	病名交換用コード正規化.....	10
4.4.13.	修飾語詳細情報取得	11
4.4.14.	修飾語排他チェック	11
4.4.15.	キーワード詳細情報取得.....	11
4.4.16.	エラーID 取得	11
4.4.17.	病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索.....	11
4.4.18.	修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索	12

4.4.19.	互換情報検索	12
4.4.20.	コーディング注意情報検索	12
4.4.21.	コーディング注意情報の初期化	12
4.4.22.	病名キーワード AND 検索	13
4.4.23.	病名パス合成	13
4.4.24.	病名パス分解	13
4.4.25.	修飾語ソート	13
4.4.26.	基本修飾語コード取得	14
4.4.27.	ファイルバージョン取得	14
4.4.28.	大文字小文字変換	14
4.4.29.	全角半角変換	14
4.4.30.	ハイフン変換	14
4.4.31.	異体字変換	15
4.4.32.	同義表記展開	15
4.4.33.	同義表記比較	15
4.4.34.	基本修飾語 ID 取得	15
4.4.35.	平仮名片仮名変換	15
4.5	構造体一覧	16
4.5.1.	ResultDiseaseNode	16
4.5.2.	ResultDisease	16
4.5.3.	ResultModifierNode	16
4.5.4.	ResultModifier	16
4.5.5.	ResultConnectiveModifierCategory	17
4.5.6.	ResultModifierJumpltem	17
4.5.7.	ResultKeyword	17
4.5.8.	DiseaseDetail	17
4.5.9.	ModifierDetail	17
4.5.10.	KeywordDetail	17
4.5.11.	ResultDiseaseNodeList	17
4.5.12.	ResultDiseaseList	17
4.5.13.	ResultModifierNodeList	17
4.5.14.	ResultModifierList	18
4.5.15.	ResultKeywordList	18
5	病名検索 ACTIVEX CONTROL	19
5.1	使用方法	19
5.2	コントロール一覧	19

5.3	エラー処理.....	20
5.4	イベント処理.....	20
5.5	フォントサイズ.....	20
5.5.1.	スタイル一覧.....	20
5.6	共通プロパティ.....	21
5.7	動作環境.....	21
5.8	病名ツリー検索ビュー.....	22
5.8.1.	コントロール構成.....	22
5.8.2.	使用コントローラー一覧.....	22
5.8.3.	プロパティ一覧.....	22
5.8.4.	メソッド一覧.....	24
5.8.5.	イベント一覧.....	24
5.8.6.	初期状態.....	25
5.8.7.	アイコン表示.....	25
5.9	病名キーワード検索ビュー.....	26
5.9.1.	コントロール構成.....	26
5.9.2.	使用コントローラー一覧.....	26
5.9.3.	プロパティ一覧.....	26
5.9.4.	メソッド一覧.....	28
5.9.5.	イベント一覧.....	28
5.9.6.	初期状態.....	28
5.9.7.	同義語区分.....	28
5.10	病名自由検索ビュー.....	30
5.10.1.	コントロール構成.....	30
5.10.2.	使用コントローラー一覧.....	30
5.10.3.	プロパティ一覧.....	30
5.10.4.	メソッド一覧.....	32
5.10.5.	イベント一覧.....	32
5.10.6.	初期状態.....	32
5.10.7.	同義語区分.....	32
5.11	類似病名検索ビュー.....	33
5.11.1.	コントロール構成.....	33
5.11.2.	使用コントローラー一覧.....	33
5.11.3.	プロパティ一覧.....	33
5.11.4.	メソッド一覧.....	34
5.11.5.	イベント一覧.....	35

5.11.6.	初期状態	35
5.12	病名パネル	36
5.12.1.	コントロール構成	36
5.12.2.	使用コントロール一覧	36
5.12.3.	プロパティ一覧	36
5.12.4.	メソッド一覧	37
5.12.5.	イベント一覧	38
5.12.6.	初期状態	38
5.13	良く使う修飾語ビュー	39
5.13.1.	コントロール構成	39
5.13.2.	使用コントロール一覧	39
5.13.3.	プロパティ一覧	39
5.13.4.	メソッド一覧	40
5.13.5.	イベント一覧	41
5.13.6.	初期状態	41
5.13.7.	ドロップダウン項目	41
5.14	修飾語ツリー検索ビュー	42
5.14.1.	コントロール構成	42
5.14.2.	使用コントロール一覧	42
5.14.3.	プロパティ一覧	42
5.14.4.	メソッド一覧	44
5.14.5.	イベント一覧	44
5.14.6.	アイコン表示	45
5.14.7.	ドロップダウン項目	45
5.15	修飾語キーワード検索ビュー	46
5.15.1.	コントロール構成	46
5.15.2.	使用コントロール一覧	46
5.15.3.	プロパティ一覧	46
5.15.4.	メソッド一覧	47
5.15.5.	イベント一覧	48
5.15.6.	初期表示	48
5.16	修飾語部位検索ビュー	49
5.16.1.	コントロール構成	49
5.16.2.	使用コントロール一覧	49
5.16.3.	プロパティ一覧	49
5.16.4.	メソッド一覧	51

5.16.5.	イベント一覧.....	51
5.16.6.	初期表示.....	51
5.16.7.	エリア情報、画像.....	51
5.16.8.	割合(Monopolize).....	53
5.17	基本修飾語パネル.....	54
5.17.1.	コントロール構成.....	54
5.17.2.	使用コントロール一覧.....	54
5.17.3.	プロパティ一覧.....	54
5.17.4.	メソッド一覧.....	54
5.17.5.	イベント一覧.....	55
5.17.6.	初期表示.....	55
6	データベース.....	56
6.1	病名マスタ.....	56
6.1.1.	一覧.....	56
6.1.2.	ファイルフォーマット.....	56
6.2	病名展開マスタ.....	56
6.2.1.	ファイルフォーマット.....	57
6.2.2.	一覧.....	57
6.2.3.	ファイルサイズ一覧.....	57
6.3	病名展開マスタ詳細.....	58
6.3.1.	病名 Index.....	58
6.3.2.	修飾語 Index.....	59
6.3.3.	キーワード Index.....	59
6.3.4.	病名階層関係 Index テーブル.....	60
6.3.5.	修飾語階層関係 Index テーブル.....	60
6.3.6.	病名詳細.....	60
6.3.7.	修飾語詳細.....	61
6.3.8.	キーワード詳細.....	62
6.3.9.	修飾語区分.....	62
6.3.10.	類似病名.....	63
6.4	コーディング注意情報マスタ.....	63
6.4.1.	一覧.....	63
6.4.2.	ファイルフォーマット.....	63
6.4.3.	ファイル構造.....	63
7	展開ツール.....	64

7.1	画面構成	64
7.2	展開方法	65
7.3	展開図	65
7.3.1.	病名関連	65
7.3.2.	修飾語関連	66
7.3.3.	キーワード関連	66
7.4	展開ファイル名一覧	67
7.5	病名関連	67
7.5.1.	病名ツリー	67
7.5.2.	病名詳細	67
7.5.3.	類似病名	69
7.6	修飾語関連	69
7.6.1.	修飾語ツリー	69
7.6.2.	修飾語詳細	69
7.7	キーワード関連	70
7.7.1.	キーワード	70
7.7.2.	修飾語区分名称	71
7.8	ファイル書き出し	71
7.9	テンポラリ構造体	72
7.9.1.	病名 Index テンポラリ構造体	72
7.9.2.	病名詳細テンポラリ構造体	72
7.9.3.	修飾語 Index テンポラリ構造体	72
7.9.4.	修飾語詳細テンポラリ構造体	72
7.9.5.	キーワード Index テンポラリ構造体	72
7.9.6.	類似病名テンポラリ構造体	72
8	データ構造	74
8.1	データ構造一覧	74
8.2	データ構造図	74
8.3	メモリ上に展開するデータのサイズ	74
8.4	構成	75
8.4.1.	病名 Index	75
8.4.2.	修飾語 Index	75
8.4.3.	キーワード Index	75
8.4.4.	修飾語区分	75
8.4.5.	コーディング注意情報	76
8.4.6.	その他	76

9	メッセージ	77
9.1	記述形式	77
9.2	メッセージ ID.....	77
9.3	サンプルアプリケーション	78
10	サンプルアプリケーション	78
10.1	画面展開.....	78
10.2	動作環境.....	80
10.3	UNDO 機能	80
10.4	メインウィンドウ	80
10.4.1.	構成.....	81
10.4.2.	病名タブビュー	82
10.4.3.	病名ツリー検索.....	83
10.4.4.	病名キーワード検索.....	85
10.4.5.	修飾語タブビュー	89
10.4.6.	良く使う修飾語.....	91
10.4.7.	修飾語部位検索	93
10.4.8.	修飾語キーワード検索	94
10.4.9.	修飾語ツリー検索	96
10.4.10.	類似病名エリア.....	98
10.4.11.	病名表示パネル	99
10.4.12.	基本修飾語パネル.....	99
10.4.13.	その他.....	100
11	INI ファイル	103
11.1	記述形式	103
11.2	属性一覧	103
12	改訂履歴	105

1 はじめに

1.1 本ドキュメントについて

本書は「病名検索システム」の基本設計を記述したものである。

1.2 背景

各病院では現在、病院情報システムが導入されている。病院情報システムでは、病名を登録する必要があるが、システムの目的は保険請求のためであり、各医師が自由な表現で入力している。

例)

胃がん、胃ガン、胃癌、XXX 性胃癌

これは、保険請求上は問題ないが、研究として後に集計/分析することが出来ない。

また、東大病院等では、病名入力の際にマスターからも選択可能とし、そのコードもシステムに保持しているが、このマスタは、厚生省 保険局作成のものであり、WHO の国際分類コード(ICD-10)との整合性が不十分である。

一方、厚生省 医療政策局では、各病院に診療情報士を置き、少なくとも退院した患者には国際分類コードを振るよう指導している。また、WHO に準拠したマスタ(約 30,000 語)を 4 年くらい前に Version1 としてリリースしているが、修飾語無く使われていない。

今回このマスタの改訂作業を行うことになり、3/末にベータリリース予定である。そこで、このマスタを使用して検索するユーザインタフェースとライブラリ群および、ユーザインタフェースとライブラリ群を使用したサンプルアプリケーションを開発する。

2 開発・動作環境

2.1 動作環境

本システムは、下記の環境でスタンドアロンシステムとして、動作するものとする。

OS	備考
Microsoft Windows98	動作確認は Second Edition でのみ行う。
Microsoft Windows NT 4.0 + SP6a	Workstation でのみ動作確認を行う。
Microsoft Windows 2000 + SP1	Professional 版でのみ動作確認を行う。

CPU、メモリに関しては、上記 OS が快適に動作するマシンであればどのようなスペックでもかまわない。

HDD の空きスペースは病名情報データを除いて最大でも 10MB あれば十分。

また下記の ActiveX コントロールが別途必要となる。

ActiveX コントロール	ファイル名
Microsoft Windows Common Controls Version 6.0 + SP4	MSCOMCTL.OCX
Microsoft Windows Tabbed Dialog Controls Version 6.0 + SP5	TABCTL32.OCX

2.2 開発言語、開発環境

本システムの開発言語、開発環境として以下のものを使用する。

開発環境	備考
Microsoft Visual C++ Enterprise Edition Ver6.0 + SP5	病名検索 ActiveX Control、病名 DB アクセス基本ライブラリを作成する。
Microsoft Visual Basic Enterprise Edition Ver6.0 + SP5	上記モジュールを使用したサンプルアプリケーションを作成する。

本システムの開発で別途用意する必要のある Microsoft 製 ActiveX コントロール

ActiveX コントロール	備考
Microsoft Windows Common Controls 6.0 MSCOMCTL.OCX (Version 6.0 + SP4)	病名検索 ActiveX 内で使用する。 TreeView (ツリー表示で使用) ListView (リスト表示で使用) ImageList (ツリーのアイコン表示に使用する)
Microsoft Windows Tabbed Dialog Controls 6.0 TABCTL32.OCX (Version 6.0 + SP5)	SSTab (xx タブビューで使用)

本システムのプログラム、ライブラリ等は無償で再配布可能なこととする。

2.3 本 DLL を用いた開発が行える開発環境

他の開発環境(Delphi 等)でも開発が行えるはずであるが、以下の開発環境以外の保証は行わない。

開発環境	備考
Microsoft Visual C++ Ver6.0 以降	MSCOMCTL.OCX(Ver6.0)、TABCTL32.OCX(Ver6.0)はMicrosoft Visual Studio 6.0に付属。 またMicrosoft Visual Studio 6.0 SP5以降をインストールする必要あり。
Microsoft Visual Basic Ver6.0 以降	MSCOMCTL.OCX(Ver6.0)、TABCTL32.OCX(Ver6.0)はMicrosoft Visual Studio 6.0に付属。 また Microsoft Visual Studio 6.0 SP5 以降をインストールする必要あり。

2.4 性能要件

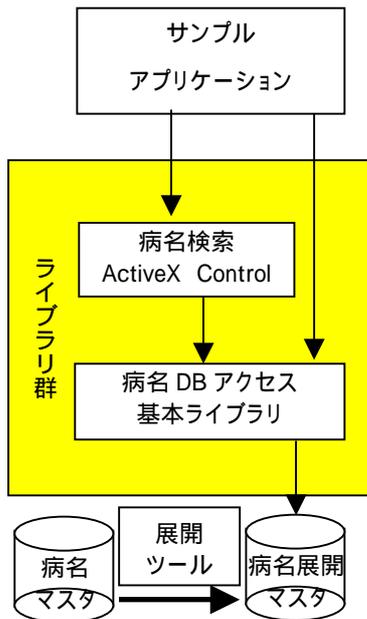
検索速度: 1~2 秒(OS: Windows 2000 CPU: PentiumII 300Mhz メインメモリ: 128MB)

ただし、病名の自由検索においてはこの限りではない。

3 機能概要

3.1 プログラム構成

今回、開発するソフトの基本部分は各病院で病院情報システムに組み込むときに使用できるよう、ライブラリ群として提供する。



実際に病名検索 ActiveX を使用して作成したサンプル事例アプリケーション。VB または VC で作成する。病名の検索方法はツリー検索、キーワード検索、修飾語の検索方法はキーワード検索、部位検索、ツリー検索とする。

基本的な検索機能および UI 機能を保持する。VB または VC のフォームに直接貼り付けられるよう、ActiveX コントロール DLL として提供する。

病名マスタを検索するためのプリミティブな機能を ActiveX DLL として提供する。インターフェースは公開するため直接このライブラリをコールすることも可能とする。病名コードの変換、大文字・小文字変換、異字体変換などのユーティリティ的な機能も提供する。

病名テーブル(30,000 件)、階層関係テーブル、修飾語テーブル(5,000 件)、キーワードテーブル等の 4~5 のテーブルから構成される。独自ファイル形式で保持する。

3.2 表記

本ドキュメントでは以下の表記を使用する。

病名 ID: 病名(分類)の階層項目区分 + 病名(分類)の階層項目 ID

病名パス: 病名 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥病名 ID¥病名 ID + ...」

修飾語 ID: 修飾語(分類)の階層項目区分 + 修飾語(分類)の階層項目 ID

修飾語パス: 修飾語 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥修飾語 ID¥修飾語 ID + ...」

4 病名 DB アクセス基本ライブラリ

病名展開マスタから DB ファイルを読み込む、検索を実施する等、病名検索に必要な基本機能を提供する。

本項では、標準的な使用方法に関する記述と、他のアプリケーション、または病名検索 ActiveX とのインターフェース部分に関して記述する。

4.1 使用方法

本ライブラリはアプリケーション内で唯一のオブジェクトとして存在していなければならない。唯一のオブジェクトにしなくても検索などは行えるが、DB ファイル情報を大量にメモリ上に展開するので複数の基本ライブラリを保持することは現実的ではない。

また病名検索を行う前に必ず初期化を行わなければならない。

VC++の場合

```
BasicDBAccess *a = new BasicDBAccess()           オブジェクトの作成
a->Initialize(病名 Index, 修飾語 Index, キーワード Index, 階層関係 Index,
              病名詳細, 修飾語詳細, キーワード詳細, 修飾語区分, 類似病名)
```

VB の場合

```
DIm a as Object
Set a = CreateObject("BasicDBAccess.xxx")       オブジェクトの作成
a.Initialize(病名 Index, 修飾語 Index, キーワード Index, 階層関係 Index,
             病名詳細, 修飾語詳細, キーワード詳細, 修飾語区分, 類似病名)
```

4.2 インターフェース一覧

各アプリケーション、および病名検索 ActiveX コントロールとのインターフェースの一覧を記述する。

基本インターフェース

「エラーID 取得」以外のインターフェースは初期化を行わない限り使用することはできない。

項番	インターフェース名	概要
1	初期化	DB ファイルの読み込み、病名、修飾語のツリー構築等、検索に必要な初期化を行う。 初期化時に全ての病名展開マスタファイルのバージョンをチェックし、1つでも異なっていたらエラーを返す。
2	病名ノードリスト取得	指定された病名直下のノードリストを取得する。 兄弟ノードはマスタ展開時に展開ツールによって階層関係テーブルの表示順によって昇順ソートされる。
3	病名キーワード検索	病名キーワード検索を実行する。 同義語区分、病名で昇順ソートされたものが検索結果として取得できる。
4	類似病名情報検索	指定した病名 ID の類似病名情報を取得する。 病名表記カナの 50 音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
5	良く使う修飾語検索	指定された病名で良く使う修飾語の一覧を取得する。 修飾語表記カナの 50 音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
6	接続修飾語区分取得	接続修飾語区分項目を取得する。 接続修飾語区分コードにより昇順ソートされたものが取得できる。
7	修飾語区分検索	修飾語区分検索を実行する。 修飾語表記カナの 50 音順でソートされたものが検索結果として取得できる。
8	修飾語キーワード検索	前方一致で修飾語キーワード検索を実行する。 同義語区分、キーワードで昇順ソートされたものが検索結果として取得できる。
9	修飾語ノードリスト取得	修飾語のノードリストを取得する。 兄弟ノードはマスタ展開時に展開ツールによって階層関係テーブルの表示順によって昇順ソートされる。
10	修飾語ジャンプドロップダウン項目取得	修飾語ジャンプ情報を取得する。 病名に対して設定可能な情報は1個だけなので1情報しか取得できない。(修飾語ジャンプ情報カラムの値は修飾語パス情報)
11	病名詳細情報取得	指定された病名 ID の病名情報詳細を取得する。
12	病名交換用コード正規化	病名コード変換メソッドを使用して正規化を行う。
13	修飾語詳細情報取得	指定された修飾語 ID の修飾語詳細情報を取得する。
14	修飾語排他チェック	修飾語グループコード排他チェック
15	キーワード詳細情報取得	指定されたキーワードのキーワード詳細情報を取得する。
16	エラーID 取得	エラーの ID を取得する。
17	病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索	病名交換用コードを元に、キーワードを検索し、対应用語コード、病名修飾語区分が一致するキーワードを全て検索結果として返す。
18	修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索	修飾語コードを元に、キーワードを検索し、対应用語コード、病名修飾語区分が一致するキーワードを全て検索結果として返す。

項番	インターフェース名	概要
19	互換情報検索	指定された病名交換用コードを持つ採択区分が「1」の病名を検索する。
20	コーディング注意情報検索	指定された ICD10-1 コードを持つコーディング情報を検索する。
21	コーディング注意情報の初期化	コーディング注意情報マスタを読み込む
22	病名キーワードAND検索	病名キーワード検索を実行する。 全角、半角スペースで区切られた文字列を全て含む病名を検索結果として返す。 同義語区分、病名で昇順ソートされたものが検索結果として取得できる。

ユーティリティ的なインターフェース

全てのインターフェースが初期化を行わなくても使用できる。

項番	インターフェース名	概要
1	病名パス合成	指定された病名 ID を病名パスに追加する。
2	病名パス分解	指定された病名パスから末端病名 ID を取得する。 引数で渡された病名パスは、末端の病名 ID を除いた状態で再設定される。
3	修飾語ソート	引数で渡された修飾語リストをソートする。
4	基本修飾語コード取得	指定された基本修飾語の修飾語コードを返す。
5	ファイルバージョン取得	引数で渡されたファイルのバージョンを返す。
6	大文字小文字変換	半角アルファベット(A-Z)を大文字から小文字へ変換する。 半角アルファベット(a-z)を小文字から大文字へ変換する。
7	全角半角変換	全角英数字、全角カナを半角へ変換する。 半角英数字、半角カナを全角へ変換する。
8	ハイフン変換	以下のハイフンを「-」に変換する。 「-」 「-」 「-」
9	異体字変換	字体の異なるものを任意の字体に統一する。 例) くびに対する統一語を「頸」とした場合 「頸椎骨折」「頸椎骨折」に変換して返す。
10	同義表記展開	同義表記生成情報を展開し、すべての同義表記を返す。
11	同義表記比較	表記のゆれを考慮した Equals 関数 病名展開マスタ - キーワード詳細テーブルから両方の ID を取り出し、同一かどうかをチェックする。
12	基本修飾語 ID 取得	指定された基本修飾語の修飾語 ID を返す。
13	平仮名片仮名変換	平仮名を全角片仮名に変換する。 全角片仮名を平仮名に変換する。

4.3 エラー処理

本ライブラリ内で起こったエラーは自動的に通知されるわけでない。各アプリケーションまたは病名検索 ActiveX が本ライブラリを呼び出した後、本ライブラリのメソッド、「GetLastErrorCode()」を呼び出してエラーが発生したかどうかをチェックする必要がある。エラーが発生していた場合、アプリケーション側で ID からメッセージへのマッピングを行い、エラーダイアログを表示しなければならない。(ActiveX コントロールもエラーダイアログを表示することはしない。)

4.4 インターフェース仕様

各インターフェースは、0(正常終了)、または1(失敗)のどちらかを戻り値として返す。

4.4.1. 初期化

メソッド名: Initialize

項番	引数	型	I/O	概要
1	病名 Index	String	I	病名 Index ファイル名
2	修飾語 Index	String	I	修飾語 Index ファイル名
3	キーワード Index	String	I	キーワード Index ファイル名
4	病名階層関係 Index	String	I	病名階層関係 Index ファイル名
5	修飾語階層関係 Index	String	I	修飾語階層関係 Index ファイル名
6	病名詳細	String	I	病名詳細ファイル名
7	修飾語詳細	String	I	修飾語詳細ファイル名
8	キーワード詳細	String	I	キーワード詳細ファイル名
9	修飾語区分	String	I	修飾語区分ファイル名
10	類似病名	String	I	類似病名ファイル名

ファイル名は全てフルパス

4.4.2. 病名ノードリスト取得

メソッド名: GetDiseaseNode

項番	引数	型	I/O	引数説明
1	範囲(検索区分)	Integer	I	1: 全て 2: 良く使う病名
	病名パス	String	I	検索対象病名パス ブランクの場合、「全体」直下のノード検索が実行される。
	検索結果構造体リスト	ResultDiseaseNode List	O	検索結果が設定される。

4.4.3. 病名キーワード検索

メソッド名: SearchDiseaseKeyword

項番	引数	型	I/O	引数説明
1	範囲(検索区分)	Integer	I	1: 全て 2: 良く使う病名
	病名パス	String	I	検索範囲を指定された病名パス以下とする。 ブランクの場合、「全体」以下の病名全てが対象となる。
	キーワード	String	I	検索対象キーワード ブランクの場合、全件検索となる。
	同義語区分	String	I	同義語区分の範囲を表示される文字列
	検索種別	Integer	I	1: 完全一致 2: 前方一致 3: 後方一致 4: 部分一致

項番	引数	型	I / O	引数説明
	最大検索件数	Integer	I	1回の検索で取得するデータの最大件数 -1の場合、全件検索
	検索結果構造体リスト	ResultDiseaseList	O	検索結果が設定される。
	推奨	Boolean	O	True:推奨される False:推奨されない
	件数超	Boolean	O	True:検索結果が最大検索件数より多く見つかった。 False:最大検索件数以下だった。

4.4.4. 類似病名検索

メソッド名: SearchResembleDisease

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	範囲(検索区分)	Integer	I	1:全て 2:良く使う病名
	病名 ID	String	I	類似病名を検索する際の元となる病名 ID
	検索結果構造体リスト	ResultDiseaseList	O	検索結果が設定される。

4.4.5. 良く使う修飾語検索

メソッド名: SearchConnectiveModifier

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象とする病名の病名 ID
	修飾語区分	String	I	絞り込む階層
	検索結果構造体リスト	ResultModifierList	O	検索結果が設定される。

4.4.6. 接続修飾語区分取得

メソッド名: GetConnectiveModifierCategory

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象とする病名の病名 ID
	検索結果構造体	ResultConnectiveModifierCategoryList	O	検索結果が設定される。

4.4.7. 修飾語区分検索

メソッド名: SearchPartModifier

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語区分	String	I	修飾語区分
	検索結果構造体	ResultModifierList	O	検索結果が設定される。

4.4.8. 修飾語キーワード検索

メソッド名: SearchModifierKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	キーワード	String	I	検索対象キーワード ブランクの場合、全件検索となる。

項番	引数	型	I / O	引数説明
	同義語区分	String	I	同義語区分の範囲を表示される文字列
	検索種別	Integer	I	1:完全一致 2:前方一致 3:後方一致 4:部分一致
	最大検索件数	Integer	I	1回の検索で取得するデータの最大件数 -1の場合、全件検索
	検索結果構造体	ResultModifierList	O	検索結果が設定される。
	推奨	Boolean	O	True:推奨される False:推奨されない
	件数超	Boolean	O	True:検索結果が最大検索件数より多く見つかった。 False:最大検索件数以下だった。

4.4.9. 修飾語ノードリスト取得

メソッド名: GetModifierNode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語パス	String	I	検索対象修飾語パス ブランクの場合、「全体」直下のノード検索が実行される。
	検索結果構造体	ResultModifierNodeList	O	検索結果が設定される。

4.4.10. 修飾語ジャンプドロップダウン項目取得

メソッド名: GetModifierJumpItem

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
	検索結果構造体	ResultModifierJumpItem	O	検索結果が設定される。

4.4.11. 病名詳細情報取得

メソッド名: GetDiseaseDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
	詳細情報構造体	DiseaseDetail	O	検索結果が設定される。

4.4.12. 病名交換用コード正規化

メソッド名: GetNormalizationDiseaseCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	検索対象病名 ID
	修飾語 ID	String 配列	I	修飾語 ID リスト
	修飾語個数	Integer	I	修飾語の個数
	正規化された病名交換用コード	String	O	正規化された病名交換用コードが設定される。

項番	引数	型	I / O	引数説明
	病名ID	String	O	病名ID
	修飾語 ID	String 配列	O	正規化後の修飾語コード
	修飾語個数	Integer	O	修飾語の個数

4.4.13. 修飾語詳細情報取得

メソッド名: GetModifierDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語 ID	String	I	取得対象修飾語 ID
	修飾語詳細構造体	ModifierDetail	O	修飾語情報詳細

4.4.14. 修飾語排他チェック

メソッド名: CheckExclusive

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語 ID	String	I	チェック対象修飾語 ID
	修飾語 ID リスト	String 配列	I	比較元修飾語 ID リスト
	チェック結果	Boolean	O	True: OK False: エラー

4.4.15. キーワード詳細情報取得

メソッド名: GetKeywordDetail

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	キーワード	String	I	取得対象キーワード
	ID	String	I	病名 ID または修飾語 ID
	キーワード詳細構造体	KeywordDetail	O	キーワード情報詳細

4.4.16. エラーID 取得

メソッド名: GetLatestErrorCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ErrCode	Integer	O	エラーコード

4.4.17. 病名交換用コードに対応するキーワードの一覧検索

メソッド名: SearchDiseaseKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名交換用コード	String	I	病名の交換用コード
	検索結果構造体リスト	ResultKeywordList	O	検索結果が設定される。

4.4.18. 修飾語コードに対応するキーワードの一覧検索

メソッド名: SearchDiseaseKeyword

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語コード	String	I	修飾語コード
	検索結果構造体リスト	ResultKeywordList	O	検索結果が設定される。

4.4.19. 互換情報検索

メソッド名: SearchCompatibleDisease

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名交換用コード	String	I	病名交換用コード
	病名 ID	String	O	渡された病名交換用コードを持つ採択区分が「1」の病名の病名 ID

4.4.20. コーディング注意情報検索

メソッド名: SearchCodingInfo

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ICD10-1 コード	String	I	ICD10-1 コード
	メッセージ	String	O	ICD10-1 コードが合致した個コーディング情報に設定されているメッセージ

4.4.21. コーディング注意情報の初期化

メソッド名: InitializeCodingInfo

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	FileName	String	I	コーディング注意情報マスタのファイル名(フルパス)

4.4.22. 病名キーワード AND 検索

メソッド名 : SearchDiseaseKeywordAnd

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	範囲(検索区分)	Integer	I	1: 全て 2: 良く使う病名
	病名パス	String	I	検索範囲を指定された病名パス以下とする。 ブランクの場合、「全体」以下の病名全てが対象となる。
	キーワード	String	I	検索対象キーワード ブランクの場合、全件検索となる。
	同義語区分	String	I	同義語区分の範囲を表示される文字列
	最大検索件数	Integer	I	1回の検索で取得するデータの最大件数 -1の場合、全件検索
	検索結果構造体リスト	ResultDiseaseList	O	検索結果が設定される。
	推奨	Boolean	O	True: 推奨される False: 推奨されない
	件数超	Boolean	O	True: 検索結果が最大検索件数より多く見つかった。 False: 最大検索件数以下だった。

4.4.23. 病名パス合成

メソッド名 : AddDiseasePath

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名 ID	String	I	追加する病名 ID
2	病名パス	String	I / O	追加元の病名パス

4.4.24. 病名パス分解

メソッド名 : DecomposeDiseasePath

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	病名パス	String	I / O	病名パス
2	病名 ID	String	O	末端の病名 ID

4.4.25. 修飾語ソート

メソッド名 : SortModifierCode

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ソート前修飾語コードリスト	String[]	I	ソート前の修飾語コードリスト
	ソート前修飾語接続位置区分リスト	Int[]	I	ソート前の修飾語区分リスト
	ソート後修飾語コードリスト	String[]	O	ソート後の修飾語コードリスト

項番	引数	型	I / O	引数説明
2	ソート語修飾語 接続位置区分リスト	Int[]	O	ソート後の修飾語区分リスト

4.4.26. 基本修飾語コード取得

メソッド名: GetBasicModifier

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語	String	I	修飾語 (“右”、“左”、“両”)
2	修飾語コード	String	O	修飾語コード

4.4.27. ファイルバージョン取得

メソッド名: GetFileVersion

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	ファイル名	String	I	フルパスのファイル名
2	バージョン	String	O	バージョン情報

4.4.28. 大文字小文字変換

メソッド名: ConvertUpperLower

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換タイプ	Integer	I	1: 小文字へ変換 2: 大文字へ変換 3: 単語の先頭文字のみ大文字へ変換 それ以外は小文字
2	変換元文字列	String	I	変換元文字列
3	変換後文字列	String	O	変換後文字列

4.4.29. 全角半角変換

メソッド名: ConvertDoubleSingleWord

項番	引数	型	I / O	概要
1	カナ変換タイプ	Integer	I	1: 半角へ変換 2: 全角へ変換
2	英数字変換タイプ	Integer	I	1: 半角へ変換 2: 全角へ変換
3	変換元文字列	String	I	変換元文字列
4	変換後文字列	String	O	変換後文字列

4.4.30. ハイフン変換

メソッド名: ConvertHyphen

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換元文字列	String	I	変換元文字列
2	変換後文字列	String	O	変換後文字列

4.4.31. 異体字変換

メソッド名: ConvertWord

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換元文字列	String	I	変換元文字列
2	変換後文字列	String	O	変換後文字列

4.4.32. 同義表記展開

メソッド名: DevelopWord

項番	引数	型	I / O	概要
1	展開元文字列	String	I	展開元文字列
2	展開後文字列	String[]	O	展開後文字列
3	展開数	Integer	O	展開された文字列数

4.4.33. 同義表記比較

メソッド名: EqualsSynonym

項番	引数	型	I / O	概要
1	比較元病名同義表記	String	I	同義語表記(ゆれ含む)
2	比較先病名表記	String	I	病名表記(ゆれは含めない)
3	比較結果	Boolean	O	True: 同義語である False: 同義語ではない

4.4.34. 基本修飾語 ID 取得

メソッド名: GetBasicModifierID

項番	引数	型	I / O	引数説明
1	修飾語	String	I	修飾語 (“右”、“左”、“両”)
2	修飾語 ID	String	O	基本修飾語 ID

4.4.35. 平仮名片仮名変換

メソッド名: ConvertHiraKata

項番	引数	型	I / O	概要
1	変換タイプ	Integer	I	1: 片仮名への変換 2: 平仮名への変換
2	変換元文字列	String	I	変換元文字列
3	変換後文字列	String	O	変換後文字列

4.5 構造体一覧

4.5.1. ResultDiseaseNode

	データ	データ型	備考
1	病名 ID	String	
2	病名表記	String	
3	病名表記カナ	String	
4	採択区分	String	
5	病名パス	String	
6	最下層	Boolean	True: 最下層のノード False: 下位階層あり

4.5.2. ResultDisease

	データ	データ型	備考
1	病名 ID	String	
2	病名表記	String	
3	病名表記カナ	String	
4	採択区分	String	
5	同義語区分	String	
6	キーワード	String	
7	病名パス	String	

4.5.3. ResultModifierNode

	データ	データ型	備考
1	修飾語 ID	String	
2	修飾語表記	String	
3	修飾語表記カナ	String	
4	修飾語パス	String	
5	最下層	Boolean	True: 最下層のノード False: 下位階層あり

4.5.4. ResultModifier

	データ	データ型	備考
1	修飾語 ID	String	
2	修飾語表記	String	
3	修飾語表記カナ	String	
4	同義語区分	String	
5	キーワード	String	

4.5.5. ResultConnectiveModifierCategory

	データ	データ型	備考
1	接続修飾語区分	String	
2	区分名称	String	

4.5.6. ResultModifierJumpltem

	データ	データ型	備考
1	修飾語ジャンプ情報	String	
2	修飾語区分コード	String	
3	名称	String	

4.5.7. ResultKeyword

	データ	データ型	備考
1	キーワード	String	
2	対応用語コード	String	
3	同義語区分	String	

4.5.8. DiseaseDetail

病名展開マスタ - 病名詳細ファイルと同じ。

4.5.9. ModifierDetail

病名展開マスタ - 修飾語詳細ファイルと同じ。

4.5.10. KeywordDetail

病名展開マスタ - キーワード詳細ファイルと同じ。

4.5.11. ResultDiseaseNodeList

StructResultDiseaseNode のリスト

4.5.12. ResultDiseaseList

StructResultDisease のリスト

4.5.13. ResultModifierNodeList

StructResultModifierNode のリスト

4.5.14. ResultModifierList

StructResultModifier のリスト

4.5.15. ResultKeywordList

StructResultKeyword のリスト

5 病名検索 ActiveX Control

5.1 使用方法

各 ActiveX コントロールは、表示処理機能だけを持っており、検索は基本ライブラリを使用する。そのため各コントロールへ初期化した基本ライブラリオブジェクトを渡す必要がある。また各コントロールは単独で動作するため、他の ActiveX コントロールとの連携を行う必要がある場合、各アプリケーション自身がその処理を担わなければならない。

例) 病名検索 ActiveX の病名パネルコントロール、病名ツリー検索コントロールを使用して検索画面を作成した場合

基本ライブラリの初期化(各アプリケーション側の処理)

病名パネルコントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールの検索実行メソッドを呼び出す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールは渡された基本ライブラリを使用して検索実行しツリーを表示する。

アプリケーションの「選択」ボタン押下により、病名ツリー検索コントロールから選択されている病名交換用コードを取得し、病名パネルコントロールへ取得した病名交換用コードを渡す。(各アプリケーション側の処理。修飾語も同様)

病名パネルコントロールは渡された病名交換用コードと渡された基本ライブラリを使用して正規化処理を行い、病名、病名交換用コード(正規化前、正規化後)、ICD - 10コード、およびレセ電算コードを表示する。

5.2 コントロール一覧

本システムで作成するコントロール一覧を記述する。

以下のコントロールでは MSCOMCTL ライブラリのコントロールを使用している箇所があるが、MSCOMCTL 自体の機能に関する記述は省略する。詳細が知りたい場合、MSCOMCTL.OCX のドキュメントを参照すること。

項番	コントロール	Control 名	概要
1	病名ツリー検索ビュー	DiseaseTreeSearchView	病名ツリー検索結果をツリー表示する。
2	病名キーワード検索ビュー	DiseaseKeywordSearchView	病名キーワード検索結果をリスト表示する。
3	病名自由検索ビュー	DiseaseFreeSearchView	病名自由検索結果をリスト表示する。
4	類似病名検索ビュー	DiseaseResembleSearchView	類似病名検索結果をリスト表示する。
5	病名パネル	DiseasePanel	選択された病名および修飾語をリスト表示する。
6	修飾語ツリー検索ビュー	ModifierTreeSearchView	修飾語ツリー検索結果をリスト表示する。

項番	コントロール	Control 名	概要
7	修飾語キーワード検索ビュー	ModifierKeywordSearchView	修飾語キーワード検索結果をリスト表示する。
8	部位修飾語検索ビュー	PartModifierSearchView	部位修飾語部位画像の表示、検索結果をリスト表示する。
9	良く使う修飾語ビュー	ConnectiveModifierSearchView	良く使う修飾語の検索結果をリスト表示する。
10	基本修飾語パネル	BasicModifierPanel	基本修飾語を選択するボタンを表示する。

5.3 エラー処理

基本ライブラリ内で起こったエラーは自動的に通知されるわけでない。各 ActiveX Control は基本ライブラリを呼び出した後、基本ライブラリのメソッド、「GetLastErrorCode()」を呼び出してエラーが発生したかどうかをチェックする。チェックしエラーが発生していた場合、処理を中止する。

また ActiveX コントロール内で行ったエラーも自動的に通知されるわけではないので、アプリケーション側で各 ActiveX Control の「GetLastErrorCode()」メソッドを呼び出す。(このメソッドは基本ライブラリのエラーコード、ActiveX コントロールのエラーコードどちらのエラーコードも取得できる。ActiveX コントロールのエラーコード優先)

各コントロールのメソッドは、0(正常終了)、または1(失敗)のどちらかを戻り値として返す。

5.4 イベント処理

イベント処理に記載する項目は、本コントロールを使用する各アプリケーションが拾う必要のあるイベント、ユーザの操作により発生するイベントのみ記述する。各コントロールが内部的に拾う必要のあるイベントは詳細設計書に記述する。

5.5 フォントサイズ

各コントロールのフォントサイズは MS ゴシック、9 Point、標準スタイルを基準として作成する。(以降基本フォントタイプとする。)

そのため各コントロールのプロパティの設定では Font の情報を開発者が変更できるがフォントサイズを変更した場合、そのコントロールの幅、または高さが変更できないものもあるため文字が切れてしまうコントロールがあるため、フォントサイズはできるだけ変更しない方が望ましい。

5.5.1. スタイル一覧

タイプ	スタイル
基本フォントタイプ	MS ゴシック 9 Point 標準スタイル
強調フォントタイプ	MS ゴシック 9 Point 太字スタイル

5.6 共通プロパティ

各コントロールは以下のプロパティを持つ。

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
1	xxxxForeColor	ForeColor	Integer	ListView: 白 その他: 黒
	コントロールの ForeColor TreeView、Image、CommandButton は設定不可			
2	xxxxBackColor	BackColor	Integer	Windows のシステム設定
	コントロールの BackColor TreeView、Image、CommandButton は設定不可			
3	xxxxFont	Font		ラベル: 強調フォントタイプ その他: 標準フォントタイプ
	コントロールの Font 設定 Image は設定不可			

xxxx は各コントロールの名称

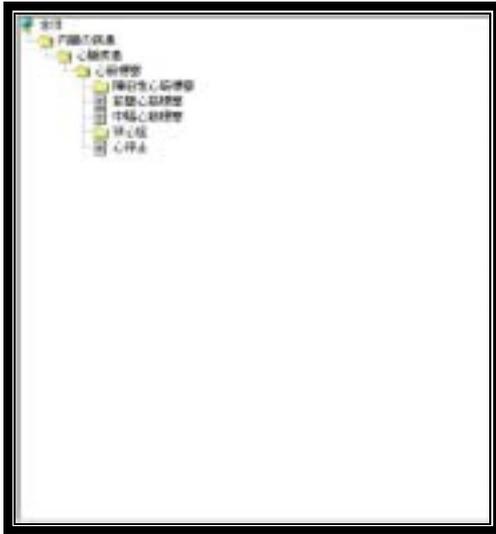
5.7 動作環境

ActiveX コントロールは以下の環境で正しく動作するように作成する。

1	画面の色	High Color (16bit)
2	画面のフォントサイズ	小さいフォント
3	スクロールバー	16
4	アクティブウィンドウの境界	1

5.8 病名ツリー検索ビュー

5.8.1. コントロール構成



5.8.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の TreeView	ツリー表示に使用

5.8.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得の両方が可能

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	TreeViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	TreeView コントロールの高さ			
2	TreeViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	TreeView コントロールの幅			
3	TreeViewAutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、TreeView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズされる。(高さ、幅を設定しても無視される。)			
4	TreeView Appearance	Appearance	Integer	1 (3D 表示)
	コントロールの描画スタイル設定			
5	TreeViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	TreeView 内でのマウスカーソル形状			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
6	TreeViewImageList	ImageList	Object	Null
	TreeView に表示するアイコンリストを持つオブジェクト Null の場合、アイコンはツリーに表示しない。			
7	TreeViewSingleSel	SingleSel	Boolean	False
	選択時に項目を展開するかどうかを指定する値 True: 展開する False: 展開しない			
8	TreeViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
9	TreeViewScroll	Scroll	Boolean	False
	スクロールバーを表示するかどうかを指定する値 True: 表示する False: 表示しない			
10	TreeViewIndentation	Indentation	Integer	詳細設計時に決定
	各ノードのインデント幅			
11	TreeViewCheckBoxes	CheckBoxes	Boolean	False
	チェックボックスを表示するかどうかを指定する値 True: チェックボックスを付加する False: 付加しない			
12	TreeViewFullRowRect	FullRowRect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 行全体を選択する False: 選択しない			
13	TreeViewLineStyle	LineStyle	Integer	0 (ツリー ライン)
	Node オブジェクト間をつなぐ線のスタイル			
14	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索範囲	PrIntLimit	Integer	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
2	病名パス	PrStrDiseaseResultPath	String	
	現在セレクションされている病名パスを返す。(取得のみ) 未選択時は空白を返す。			
3	病名区別文字列	PrStrDiseaseWord	String	"<>"
	病名を区別して表示する場合に、病名の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
4	分類項目区別文字列	PrStrClassificationWord	String	"[:]"
	分類項目を区別して表示する場合に、分類項目の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
5	病名 / 分類項目区別	PrIntDistinction	Integer	0
	病名 / 分類項目を区別するスタイル			
	0: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。)			
	1: 病名を病名区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。)			
	2: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲み、病名を病名区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。)			
3: 文字色で区別する。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティを使用する。)				
9: 区別しない。				
6	病名区別色	PrIntDiseaseColor	Integer	黒
	病名の文字色			
7	分類項目区別色	PrIntClassificationColor	Integer	黒
	分類項目の文字色			

5.8.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	TreeViewSearch	検索範囲 病名パス	Integer String	
	ツリー検索を実行する。			
2	SetDiseasePath	病名パス	String	
	指定された病名パスを現在対象の病名とする。 このメソッドを呼び出した場合、自動的にツリーの再表示も行われる。 病名パスプロパティに値を設定する。 病名パスの末端を選択状態とし、末端の子ノードレベルまでのツリーを表示する。			
3	SetParentDiseasePath	病名パス	String	
	指定された病名パスの親を現在対象の病名とする。 このメソッドを呼び出した場合、自動的にツリーの再表示も行われる。 病名パスプロパティに値を設定する。 病名パスの末端を1つ上の親を選択状態とし、選択された病名の子ノードレベルまでのツリーを表示する。			
4	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起こらなかった場合、「0」			

5.8.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリがイベントを拾えるか
1	DbIClick			
	ノードを展開したり、閉じたりする。			
2	Click			
	選択されたノードをセレクション状態にする。			

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリがイベントを拾えるか
3	KeyDown			
	カーソルの右キー、左キーの場合、ノードを展開したり、閉じたりする。カーソルの上キー、下キーの場合、選択されたノードをセレクション状態にする。			×

5.8.6. 初期状態

「全体」だけ表示する。

5.8.7. アイコン表示

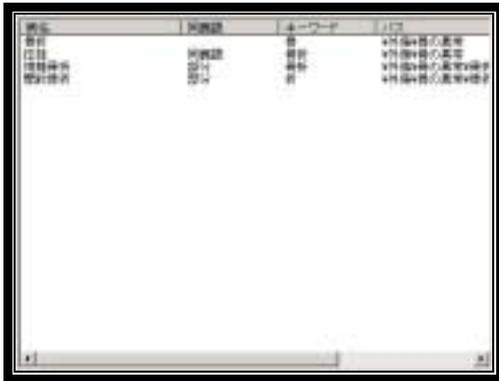
本コントロールはツリーにアイコンを表示することが可能である。アイコンが必要な場合、本コントロールに使用するアイコンを登録した Image List Control オブジェクトを渡す必要がある。Image List Control オブジェクトを渡さなかった場合、アイコンは表示されない。

また、アイコン自体は何でもかまわないがアイコン ID はシステム側で規定しているため、それに合わせて Image List にアイコンを登録する必要がある。

ID	状態	備考
1	トップ	ツリーのトップ
2	閉じた状態(採択区分 = 1)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 1)
3	閉じた状態(採択区分 = 2)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 2)
4	閉じた状態(採択区分 = 3)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(採択区分 = 3)
5	閉じた状態(分類項目)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態(分類項目)
6	開いた状態(採択区分 = 1)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 1)
7	開いた状態(採択区分 = 2)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 2)
8	開いた状態(採択区分 = 3)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(採択区分 = 3)
9	開いた状態(分類項目)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態(分類項目)
10	最下層(採択区分 = 1)	採択区分 = 1の子ノードが無い最下層の病名
11	最下層(採択区分 = 2)	採択区分 = 2の子ノードが無い最下層の病名
12	最下層(採択区分 = 3)	採択区分 = 3の子ノードが無い最下層の病名
13	最下層(分類項目)	子ノードが無い最下層の分類項目

5.9 病名キーワード検索ビュー

5.9.1. コントロール構成



5.9.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用

5.9.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ Trueの場合、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。)			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	ListViewAllowColumnReorder	AllowColumnReorder	Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
5	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
6	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
	スクロールバーの外観を決定する値 True: FlatScrollBar スタイルのスクロールバーを表示 False: 標準のスクロールバー			
7	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 選択する False: 選択しない			
8	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
9	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
10	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
11	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	List 内でのマウスカーソル形状			
12	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
13	ListViewListItem	Listitem	Integer	3 (詳細表示)
	List の表示形式を設定			
14	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
備考				
1	検索キーワード	PrStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値			
2	検索対象病名パス	PrStrDiseasePath	String	
	検索範囲指定する病名パス 病名パスを設定すると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
3	選択病名パス	PrStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
4	検索範囲	PrIntLimit	Integer	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
5	検索方法	PrSearchType	Integer	2(前方一致)
	検索方法 2: 前方一致検索 3: 後方一致検索			

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
6	最大検索件数	PrIntMaxSearch	Integer	50
	最大検索件数			
7	推奨	PrBolCommend	Boolean	TRUE
	推奨フラグ(値の取得のみ可) TRUE:推奨される FALSE:推奨されない			

5.9.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	ListViewSearch	検索範囲	Integer	
		検索方法	String	
		キーワード	String	
		同義語区分	String	
		パス	String	
		最大検索件数	Integer	
	リスト検索を実行する。			
2	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起こらなかった場合、「0」			
3	Clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.9.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリがイベントを拾えるか
1	Click			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	DbClick			
	処理なし。			

5.9.6. 初期状態

何も表示しない。

5.9.7. 同義語区分

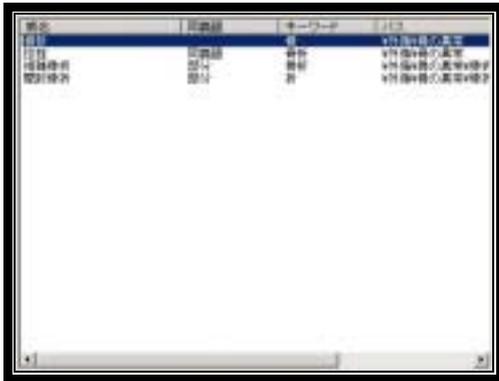
リストには同義語を表示するが、検索結果として得られるものは同義語区分である。本コントロールは同義語区分から同義語へのマッピング処理を行う。

同義語区分	表示名称
0	病名
1	同義語

同義語区分	表示名称
2	類似語
3	部分語

5.10 病名自由検索ビュー

5.10.1. コントロール構成



5.10.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用

5.10.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイジングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。)			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	ListViewAllowColumnReorder		Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
5	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			
6	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
	スクロール バーの外観を決定する値 True: FlatScrollBar スタイルのスクロール バーを表示 False: 標準のスクロールバー			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
7	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 選択する False: 選択しない			
8	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
9	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
10	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
11	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	List 内でのマウスカーソル形状			
12	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
13	ListViewListItem	ListItem	Integer	3 (詳細表示)
	List の表示形式を設定			
14	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索キーワード	PrStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値 キーワードが設定されると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
2	検索範囲	PrintLimit	Integer	1(レベル1検索)
	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			
3	選択病名パス	PrStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
4	最大検索件数	PrintMaxSearch	Integer	50
	最大検索件数			
5	推奨	PrBolCommend	Boolean	TRUE
	推奨フラグ(値の取得のみ可) TRUE: 推奨される FALSE: 推奨されない			

5.10.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
1	ListViewSearch	検索範囲	Integer	
		検索方法	String	
		キーワード	String	
		同義語区分	String	
		パス	String	
		最大検索件数	Integer	
リスト検索を実行する。				
2	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起こらなかった場合、「0」			
3	Clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.10.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
1	Click			アプリがイベントを拾えるか
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	DbClick			
	なし			

5.10.6. 初期状態

何も表示しない。

5.10.7. 同義語区分

リストには同義語を表示するが、検索結果として得られるものは同義語区分である。本コントロールは同義語区分から同義語へのマッピング処理を行う。

同義語区分	表示名称
0	病名
1	同義語
2	類似語
3	部分語

5.11 類似病名検索ビュー

5.11.1. コントロール構成



5.11.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用

5.11.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。)			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	SearchDiseaseID		String	
	類似病名検索元となる病名 ID			
5	DiseaseID		String	
	現在セレクションされている病名の病名 ID を取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
6	ListViewAllowColumnReorder		Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
7	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			
	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
8	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
8	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
9	ListViewRowSelect	RowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値。バーを表示 True: 表示する False: 表示しない			
	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
10	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
11	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
12	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
13	List 内でのマウスカーソル形状			
	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
14	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
	ListViewListItem	ListItem	Integer	3 (詳細表示)
15	List の表示形式を設定			
	BasicDBAccess		Object	Null
16	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	選択病名パス	PrStrDiseaseResultPath	String	
	セレクションされた病名のパスが設定される。			
	類似元病名 ID	PrStrDiseaseID	String	
2	類似病名リストの元となる病名の病名 ID。値が設定されると自動的に検索が行われる。 現在設定されている値と同一の場合は、検索は行われない。			
	検索範囲	PrIntLimit	Integer	1(レベル1検索)
3	検索範囲を設定する。 0: レベル2検索 1: レベル1検索			

5.11.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
	ListViewSearch	検索範囲 類似対象病名 ID	String String	

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
	リスト検索を実行する。 検索実行時に引数としてキーワードを指定した場合、類似対象病名 ID プロパティ値は無視される。			
2	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起これなかった場合、「0」			
3	Clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.11.5. イベント一覧

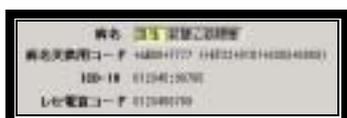
項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	Click			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	DbClick			
	なし			

5.11.6. 初期状態

何も表示しない。

5.12 病名パネル

5.12.1. コントロール構成



5.12.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	Label	病名ラベル
2	Label	病名交換用コードラベル
3	Label	ICD10 ラベル
4	Label	レセ電算コードラベル
5	Label	修飾語、または病名表示に使用
6	Label	病名交換用コード値の表示に使用
7	Label	ICD10 コード値の表示に使用
8	Label	レセ電算コード値の表示に使用

5.12.3. プロパティ一覧

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	DiseaseLabelCaption	Caption	String	“病名”
	病名ラベルのラベル名称(項番1のコントロール)			
2	DiseaseLabelAllgnment	Allgnment	Integer	1(右揃え)
	ラベルの揃え位置(項番1のコントロール)			
3	DiseaseLabelWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ラベルの幅(項番1のコントロール)			
4	DiseaseCodeLabelCaption	Caption	String	“病名交換用コード”
	病名交換用コードラベルのラベル名称(項番2のコントロール)			
5	DiseaseCodeLabelAllgnment	Allgnment	Integer	1(右揃え)
	ラベルの揃え位置(項番2のコントロール)			
6	DiseaseCodeLabelWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ラベルの幅(項番2のコントロール)			
7	ICD10LabelCaption	Caption	String	“ICD10”
	ICD10 ラベルのラベル名称(項番3のコントロール)			
8	ICD10LabelAllgnment	Allgnment	Integer	1(右揃え)
	ラベルの揃え位置(項番3のコントロール)			
9	ICD10LabelWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ラベルの幅(項番3のコントロール)			
10	ReseLabelCaption	Caption	String	“レセ電算コード”
	レセ電算コードラベルのラベル名称(項番4のコントロール)			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
11	ReseLabelAlignment	Alignment	Integer	1(右揃え)
	ラベルの揃え位置(項番4のコントロール)			
12	ReseLabelWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ラベルの幅(項番4のコントロール)			
13	DiseaseCodeLeft	Left	Integer	詳細設計時に決定
	病名交換用コード表示値の左位置(項番2のコントロール)			
14	ICD10Left	Left	Integer	詳細設計時に決定
	ICD10 表示値の左位置(項番3のコントロール)			
15	ReseLeft	Left	Integer	詳細設計時に決定
	レセ電算コード表示値の左位置(項番4のコントロール)			
16	DiseaseLeft	Left	Integer	詳細設計時に決定
	病名表示の左位置(項番1のコントロール)			
	AutoSize	AutoSize	Boolean	True
17	<p>True: ラベルコントロール、表示コントロールの位置を自動調整する。 べルは、右揃えで一番文字列の長いコントロールを基準として自動配置される。 表示コントロールはラベルの一番長いコントロール + 5 mm の幅をあけて左揃えで自動配置される。 各ラベルの幅プロパティの値は反映されない。 False: 自動調整しない</p>			
18	DiseaseCodeHide		Boolean	False
	病名交換用コードをラベルも含めて非表示にする。			
19	ICD10Hide		Boolean	False
	ICD コードをラベルも含めて非表示にする。			
20	ReseHide		Boolean	False
	レセ電算コードをラベルも含めて非表示にする。			
21	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			
22	ViewLabel	Left	Integer	詳細設計時に決定
	<p>項番「5」、「6」、「7」、「8」のLeft位置(共通で使用する。) 項番「5」は最左端のコントロールのLeft位置として使用する。</p>			

5.12.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	AddDisease	病名 ID	String	
	病名をパネルに設定する。 病名を設定すると現在登録されている修飾語は全てクリアされる。			
2	AddModifier	修飾語 ID	String	
	修飾語を追加する。追加された修飾語はスタックされる。 スタックする前に排他チェックを実施し、エラーの場合スタックされない。			
3	DeleteModifier			
	現在選択されている修飾語を削除する。 病名を選択、または何も選択されていない場合、エラーダイアログを表示する。			
4	GetDiseaseValue	病名(Out)	String	
	病名の文字列を返す。			
5	GetDiseaseCodeAfter	コード(Out)	String	
	置き換え後の病名交換用コード + 修飾語コードを返す。			

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
				備考
6	GetDiseaseCodeBefore	コード(Out)	String	置き換え前の病名交換用コード+ 修飾語コードを返す。
7	GetICD10	コード(Out)	String	ICD10 コードを返す。置き換え可能な場合は、置き換え後の ICD10 コードを返す。
8	GetReseCode	コード(Out)	String	レセ電算コードを返す。置き換え可能な場合は、置き換え後のレセ電算コードを返す。
9	GetSelection	ID(Out)	String	現在選択されている病名 ID または修飾語 ID を返す。
10	GetDiseaseID	病名 ID(Out)	String	現在設定されている病名の病名 ID を返す。
11	GetModifierIDs	修飾語 ID リスト(out)	String	現在設定されている修飾語 ID のリストを返す。
12	CreatePanel			パネルの表示項目生成、および正規化を行う。
13	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起らなかった場合、「0」

5.12.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
				備考
1	Click			アプリが拾えるイベントか
				×

5.12.6. 初期状態

何も表示しない。

5.13 良く使う修飾語ビュー

5.13.1. コントロール構成



5.13.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用
2	ComboBox	ドロップダウンに使用 入力不可、選択のみ

5.13.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。また ComboBox は影響を受けない。)			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	ModifierKeyword		String	
	現在セレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
5	ListViewAllowColumnReorder		Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
6	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
7	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
	スクロール バーの外観を決定する値 True: FlatScrollBar スタイルのスクロール バーを表示 False: 標準のスクロールバー			
8	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 選択する False: 選択しない			
9	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
10	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
	表示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
11	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
12	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	List 内でのマウスカーソル形状			
13	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
14	ListViewListItem	ListItem	Integer	3 (詳細表示)
	List の表示形式を設定			
15	JumpComboBoxWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ComboBox コントロールの幅			
16	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	修飾語 ID	PrStrModifierID	String	
	現在セレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
2	病名 ID	PrStrDiseaseID	String	
	検索対象となる病名 ID このプロパティに値が設定されると、自動的にドロップダウン項目の検索が実行される。			

5.13.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	ListViewSearch	病名 ID 修飾語区分	String String	

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
	リスト検索を実行する。 ジャンプ情報ドロップダウンでジャンプ位置が指定されている場合、それを検索条件として付加する。			
2	CreateComboItems	病名ID	String	
	コンボボックスの項目を作成する。			
3	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起これなかった場合、「0」			

5.13.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	Click (ListView)			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			
2	DbClick (ListView)			
	処理なし			
3	Change (Combobox)			
	選択された修飾語区分以下の修飾語を検索する。			

5.13.6. 初期状態

何も表示しない。

5.13.7. ドロップダウン項目

病名 DB 基本アクセスの GetConnectiveModifierCategory の検索結果として受け取ったデータを元にドロップダウン項目を作成する。

検索結果の「名称」を検索結果の並び順でドロップダウン項目に設定する。設定方法は以下のとおり。なお、関連項目が存在しない場合は「(関連修飾語なし)」を表示する。

先頭項目

「(関連修飾語全て)」を設定する。

下4桁が「0000」のもの

全角スペース + 名称を設定する。

下2桁が「00」のもの

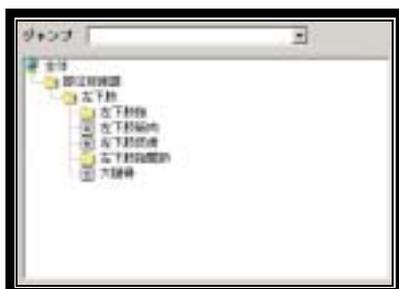
全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

上記以外

全角スペース + 全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

5.14 修飾語ツリー検索ビュー

5.14.1. コントロール構成



5.14.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の TreeView	ツリー表示に使用
2	ComboBox	ジャンプ情報に使用 入力は不可、選択のみ
3	Label	ジャンプラベル ラベルの幅は自動設定

5.14.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得の両方が可能

UI 系

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、TreeView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズ ングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。また ComboBox は影響を受けない。)			
2	TreeViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	TreeView コントロールの高さ			
3	TreeViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	TreeView コントロールの幅			
4	TreeView Appearance	Appearance	Integer	1 (3D 表示)
	コントロールの描画スタイル設定			
5	TreeViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	TreeView 内でのマウスポインタ形状			
6	TreeViewImageList	ImageList	Object	Null
	TreeView に表示するアイコンリストを持つオブジェクト Null の場合、アイコンはツリーに表示しない。			

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
	備考			
7	TreeViewSingleSel	SingleSel	Boolean	False
	選択時に項目を展開するかどうかを指定する値 True: 展開する False: 展開しない			
8	TreeViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
9	TreeViewScroll	Scroll	Boolean	False
	スクロール バーを表示するかどうかを指定する値 True: 表示する False: 表示しない			
10	TreeViewIndentation	Indentation	Integer	詳細設計時に決定
	各ノードのインデント幅			
11	TreeViewCheckBoxes	CheckBoxes	Boolean	False
	チェック ボックスを表示するかどうかを指定する値 True: チェックボックスを付加する False: 付加しない			
12	TreeViewFullRowRect	FullRowRect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 行全体を選択する False: 選択しない			
13	TreeViewLineStyle	LineStyle	Integer	0 (ツリー ライン)
	Node オブジェクト間をつなぐ線のスタイル			
14	JumpComboBoxWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	ComboBox コントロールの幅			
15	JumpLabelCaption	Caption	String	“ジャンプ”
	Label コントロールラベル名			
16	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	修飾語パス	PrStrModifierResultPath	String	
	現在セレクションされている修飾語の修飾語パスを取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
2	修飾語区別文字列	PrStrDiseaseWord	String	“<>”
	修飾語を区別して表示する場合に、修飾語の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
3	分類項目区別文字列	PrStrClassificationWord	String	“[:]”
	分類項目を区別して表示する場合に、分類項目の前後に付加する文字列を設定 前後を「;(半角セミコロン)」で区切って設定する。			
4	修飾語 / 分類項目区別	PrIntDistinction	Integer	0

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
	修飾語 / 分類項目を区別するスタイル スタイル 0: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 1: 修飾語を修飾語区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 2: 分類項目を分類項目区別文字列プロパティの値で囲み、修飾語を修飾語区別文字列プロパティの値で囲む。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティの影響を受ける。) 3: 文字色で区別する。(病名色プロパティ、分類項目色プロパティを使用する。) 9: 区別しない。			
5	修飾語区別色	PrIntDiseaseColor	Integer	黒
	修飾語の文字色			
6	分類項目区別色	PrIntClassificationColor	Integer	黒
	分類項目の文字色			
7	病名 ID	PrDiseaseID	String	
	ジャンドロップダウン項目取得時に使用する。値を設定すると自動的にジャンプ情報、ツリー項目を検索しノードに表示する。ListViewSearch の引数は必ず修飾語 ID を使用する。			

5.14.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	TreeViewSearch	修飾語パス 修飾語 ID	String String	
	ツリー検索を実行する。 ジャンプ情報ドロップダウンでジャンプ位置が指定されている場合はその修飾語パス			
2	CreateComboItems	病名 ID	String	
	コンボボックスの項目を作成する。			
3	GetLastErrorcode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起らなかった場合、「0」			

5.14.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	Click (ListView)			
	選択されたりリストをセレクション状態にする。			
2	DbClick (ListView)			
	ノードを展開したり、閉じたりする。			
3	Change (Combobox)			
	選択された修飾語区分以下の修飾語ノードを検索する。			
4	KeyDown			
	カーソルの右キー、左キーの場合、ノードを展開したり、閉じたりする。カーソルの上キー、下キーの場合、選択されたノードをセレクション状態にする。			×

5.14.6. アイコン表示

本コントロールはツリーにアイコンを表示することが可能である。アイコンが必要な場合、本コントロールに使用するアイコンを登録した Image List Control オブジェクトを渡す必要がある。Image List Control オブジェクトを渡さなかった場合、アイコンは表示されない。

また、アイコン自体は何でもかまわないがアイコン ID はシステム側で規定しているため、それに合わせて Image List にアイコンを登録する必要がある。

ID	状態	備考
1	トップ	ツリーのトップ
2	閉じた状態(修飾語)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態
3	閉じた状態(分類項目)	子ノードが存在するが、まだ展開していない状態
4	開いた状態(修飾語)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態
5	開いた状態(分類項目)	子ノードが存在し、かつ子ノードを展開している状態
6	最下層(修飾語)	子ノードが無い最下層の修飾語
7	最下層(分類項目)	子ノードが無い最下層の分類項目

5.14.7. ドロップダウン項目

病名 DB 基本アクセスの GetModifierJumpltem の検索結果として受け取ったデータを元にドロップダウン項目を作成する。

検索結果の「名称」を検索結果の並び順でドロップダウン項目に設定する。設定方法は以下のとおり。(現在は1つしか検索結果は返ってこない。)

下4桁が「0000」のもの

そのまま名称を設定する。

下2桁が「00」のもの

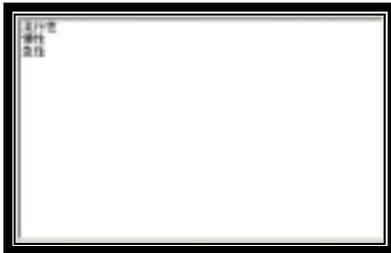
全角スペース + 名称を設定する。

上記以外

全角スペース + 全角スペース + 名称を設定する。

5.15 修飾語キーワード検索ビュー

5.15.1. コントロール構成



5.15.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用

5.15.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイジングされる。(高さ、幅を設定しても無視される。)			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	ModifierKeyword		String	
	現在セレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) セレクションされていない場合、ブランクを返す。			
5	ListViewAllowColumnReorder		Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
6	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			
7	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
	スクロール バーの外観を決定する値 True: FlatScrollBar スタイルのスクロール バーを表示 False: 標準のスクロールバー			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
8	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 選択する False: 選択しない			
9	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
10	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
	示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
11	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
12	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	List 内でのマウスカursor形状			
13	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
14	ListViewListItem	ListItem	Integer	3 (詳細表示)
	List の表示形式を設定			
15	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	検索キーワード	PrStrKeyWord	String	
	検索条件に付加するキーワード値 キーワードが設定されると自動的に検索が実行され、リストが表示される。			
2	選択修飾語 ID	PsStrModifierResultID	String	
	セレクションされた修飾語の修飾語の ID が設定される。(取得のみ可)			
3	最大検索件数	PrintMaxSearch	Integer	50
	最大検索件数			

5.15.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
1	ListViewSearch	キーワード 同義語区分 検索種別 最大検索件数	String String Integer Integer	
	リスト検索を実行する。検索種別は必ず「2(前方一致)」とする。			
2	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
	備考			
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起こらなかった場合、「0」			
3	Clear			
	リスト表示をクリアする。			

5.15.5. イベント一覧

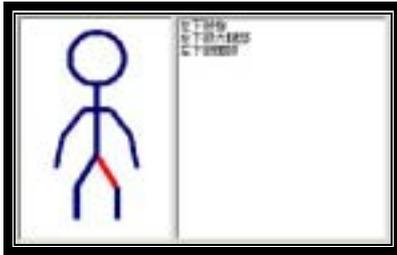
項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベントか
1	Click			
	選択されたリストをセレクション状態にする。			×
2	DbClick			
	なし			×

5.15.6. 初期表示

何も表示しない。

5.16 修飾語部位検索ビュー

5.16.1. コントロール構成



5.16.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	Image	部位画像表示に使用
2	MSCOMCTL の ListView	リスト表示に使用

5.16.3. プロパティ一覧

UI 系

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、Image、ListView コントロールは他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに自動リサイズされる。(高さ、幅を設定しても無視される。) Image と ListView の専有域は Monopolize プロパティの値を元に決定される。			
2	ListViewHeight	Height	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの高さ			
3	ListViewWidth	Width	Integer	詳細設計で決定
	ListView コントロールの幅			
4	ListViewAllowColumnReorder		Boolean	False
	マウスを使用してユーザーが列を配置し直すことができるかどうかを決定する値 True: 許可する False: 許可しない			
5	ListViewAppearance	Appearance	Integer	0 (3D)
	コントロールの描画スタイルを設定			
6	ListViewFlatScrollBar	FlatScrollBar	Boolean	False
	スクロールバーの外観を決定する値 True: FlatScrollBar スタイルのスクロールバーを表示 False: 標準のスクロールバー			

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
	備考			
7	ListViewFullRowSelect	FullRowSelect	Boolean	False
	行全体を選択するかどうかを指定する値 True: 選択する False: 選択しない			
8	ListViewGridLines	GridLines	Boolean	False
	詳細表示でグリッド線を表示するかどうかを決定する値 True: 表示する False: 表示しない			
9	ListViewHideColumnHeaders	HideColumnHeaders	Boolean	False
	表示形式が詳細表示 (Report) の場合、ColumnHeader オブジェクトを表示するかどうかを設定 True: 表示しない False: 表示する			
10	ListViewHideSelection	HideSelection	Boolean	True
	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストの強調表示方法 True: 自動解除する False: 自動解除しない			
11	ListViewMousePointer	MousePointer	Integer	0 (システム任せ)
	List 内でのマウスカーソル形状			
12	ListViewMultiSelect	MultiSelect	Boolean	False
	複数オブジェクトまたは項目を同時に選択できるかどうかを設定 True: 選択可能 False: 選択不可			
13	ListViewListItem	ListItem	Integer	3 (詳細表示)
	List の表示形式を設定			
14	ImageHeight	Height	Integer	詳細設計時に決定
	Image の高さ			
15	ImageWidth	Width	Integer	詳細設計時に決定
	Image の幅			
16	ImagePicture	Picture		
	Image に貼り付ける画像			
17	Monopolize	Integer		60
	Image コントロールが占める割合を設定 (5.16.8 章で補足説明)			
18	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

検索系

項番	項目名	プロパティ名	型	規定値
	備考			
1	選択修飾語 ID	PrStrModifierResultID	String	
	現在選択されている修飾語の修飾語 ID を取得する。(取得のみ) 選択されていない場合、ブランクを返す。			
2	選択部位	PrStrConnective	String	
	現在選択されているエリアの部位区分を返す。(L,R,N のどれか)			

5.16.4. メソッド一覧

項番	メソッド名	引数	型	戻り値
1	Clear			
	イメージ、リストをクリア(初期化)する。			
2	SetArea	L,R,N + 修飾語区分	String	
		頂点 1(x,y)	String	
		頂点 2(x,y)	String	
		頂点 3(x,y)	String	
		画像ファイル名	String	
エリア情報を設定する。設定情報はスタックされていく。 基本画像は ImagePicture プロパティに設定する。 修飾語区分には「右」、「左」または「その他」を表す「L」、「R」または「N」を修飾語区分の先頭に付加する。				
3	ImageChange			
	選択されたエリアに合わせて画像を変更し、修飾語の検索を行う。			
4	GetLastErrorCode	エラーコード	Integer	
	エラーコードを取得する。 返される値は以下の通りとする。 ActiveX コントロール内で起こったエラーの場合、そのエラーコード 基本ライブラリで起こったエラーの場合、そのエラーコード 上記どちらにもエラーが起らなかった場合、「0」			

5.16.5. イベント一覧

項番	イベント名	引数	型	戻り値
				アプリが拾えるイベントか
備考				
1	ImageClick			
	選択されたエリアの修飾語を検索しリストに表示する。 画像を再描画する。			
2	Click(ListView)			
	選択された修飾語をセレクション状態にする。			
3	ImageDbClick			
	なし			
4	DbClick(ListView)			
	なし			

5.16.6. 初期表示

何も表示しない。

5.16.7. エリア情報、画像

エリア情報、画像情報は第 11 項で記述している INI ファイルに記述する。各アプリケーションはこの INI ファイルを読み込み、このコントロールに情報を渡してやらなければならない。

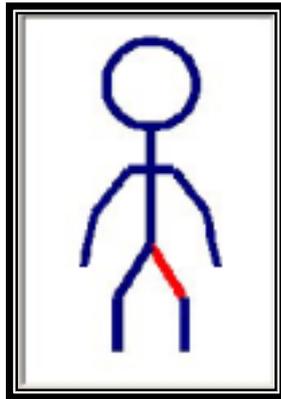
各エリアは、3 角形で形成し、その 3 頂点の座標が INI 情報に記述されていなければならない。

画像の反転表示方法として、エリア毎に、画像を用意しそれを本コントロールがマウスクリックされたエリアの画像に適宜切り替えて表示する。

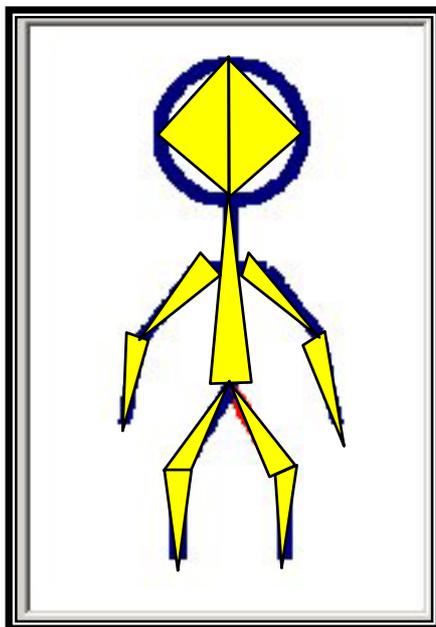
複数エリアが同一の修飾語区分を持つことも可能とする。

エリア情報サンプル

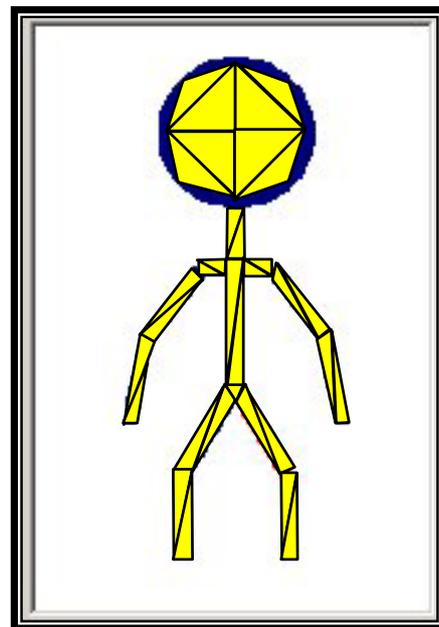
原点	左上
単位	ピクセル



元画像



11エリアに分けた場合

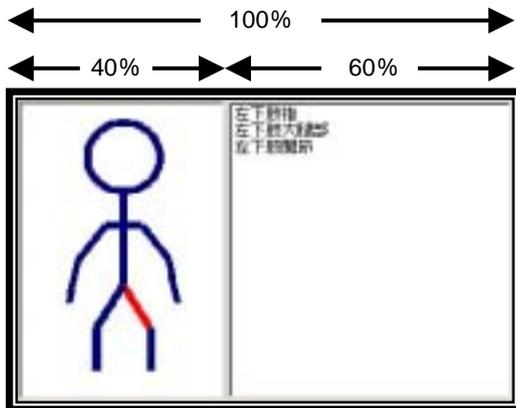


33エリアに分けた場合

5.16.8. 割合(Monopolize)

プロパティ「Monopolize」は、イメージとリストの幅のうちイメージが占める割合を指定する。

例) Monopolize = 40 の場合



5.17 基本修飾語パネル

5.17.1. コントロール構成



5.17.2. 使用コントロール一覧

項番	コントロール	備考
1	CommandButton	「右」ボタン
2	CommandButton	「左」ボタン
3	CommandButton	「両」ボタン
4	Frame	各ボタンの台紙

5.17.3. プロパティ一覧

特に明記しない限り設定、取得の両方が可能

項番	本コントロール内での プロパティ名	使用コントロール内での プロパティ名	型	規定値
備考				
1	AutoSize		Boolean	True
	True: 自動リサイズ False: マニュアルサイズ True の場合、3つの CommandButton の幅が他のアプリケーションに貼り付けた際のサイズに合わせて均等に3分割される。			
2	RightCmdButtonCaption	Caption		“右”
	「右」CommandButton の表示文字			
3	LeftCmdButtonCaption	Caption		“左”
	「左」CommandButton の表示文字			
4	BothCmdButtonCaption	Caption		“両”
	「両」CommandButton の表示文字			
5	BasicDBAccess		Object	Null
	DB 基本アクセスライブラリ(値の設定のみ可能)			

5.17.4. メソッド一覧

なし。

5.17.5. イベント一覧

各アプリケーションは以下のイベントを拾って適宜必要な処理を呼び出す。

項番	イベント名	引数	型	戻り値
	備考			アプリが拾えるイベント
1	RightButtonClick	なし		
	「右」ボタン押下時に発生するイベント			
2	LeftButtonClick	なし		
	「左」ボタン押下時に発生するイベント			
3	BothButtonClick	なし		
	「両」ボタン押下時に発生するイベント			

5.17.6. 初期表示

なし。

6 データベース

6.1 病名マスタ

病名マスタ DB は、CSV 形式で提供されるものとする。

6.1.1. 一覧

病名マスタは以下のテーブルから構成される。

	テーブル名	概要
1	病名基本テーブル	病名に関する情報が登録されている。
2	修飾語テーブル	修飾語に関する情報が登録されている。
3	キーワードテーブル	キーワードに関する情報が設定されている。
4	病名補助テーブル	病名に関する補助情報が登録されている。
5	修飾語補助テーブル	修飾語に関する補助情報が登録されている。
6	病名階層項目テーブル	病名の分類項目に関する情報が登録されている。 上位項目 ID がブランクのものがルート項目となる。
7	病名階層関係テーブル	病名、または分類の階層構造に関する情報が登録されている。
8	修飾語階層項目テーブル	修飾語の分類項目に関する情報が登録されている。 上位項目 ID がブランクのものがルート項目となる。
9	修飾語階層関係テーブル	修飾語の階層構造に関する情報が登録されている。
10	修飾語区分名称テーブル	修飾語の区分に対応する名称の情報が登録されている。

詳細は『ICD10 準拠標準病名マスタ』を参照のこと。

6.1.2. ファイルフォーマット

病名マスタは以下の仕様に沿って記述されている必要がある。

	属性	仕様
1	ファイル形式	CSV 形式
2	文字コード	SJIS
3	改行コード	CRLF
4	項目区分	「,(半角カンマ)」
5	囲み文字	必ず「”(半角ダブルクォート)」で文字を囲む。
6	「”(半角ダブルクォート)」のエスケープ	「¥”(半角ダブルクォート)」
7	「¥」のエスケープ	「¥¥」

6.2 病名展開マスタ

本システムでは、病名マスタ DB を検索速度向上のために病名マスタと異なる論理構造を持つ病名展開マスタ DB を使用する。(以降、オリジナルを病名マスタ、本システムで使用するマスタを病名展開マスタとする。)

また、検索速度向上のため、アプリケーション実行時に Index ファイルの情報はメモリ上に展開され保持される。

その他のファイルは必要時に毎回、読み込まれる。

6.2.1. ファイルフォーマット

病名展開マスタのファイルフォーマットはすべて固定長バイナリとする。(階層関係 Index、類似病名は可変長バイナリとする。)

各レコードの区切りには「CRLF」を付加する。

各ファイルの先頭にはヘッダー情報としてバージョン情報(30Byte 固定)が記述されている。

6.2.2. 一覧

病名展開マスタは以下のテーブルから構成される。

	テーブル名	概要	ファイル形式	メモリ上に展開	展開時に使用するテーブル
1	病名 Index	病名検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		病名基本 病名補助 病名階層関係
2	修飾語 Index	修飾語検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		修飾語 修飾語補助
3	キーワード Index	キーワード検索用 Index テーブル	固定長バイナリ		キーワード 病名補助 修飾語補助
4	病名階層関係 Index	病名階層関係情報	固定長バイナリ		病名分類項目 病名階層関係
5	修飾語階層関係 Index	修飾語階層関係情報	固定長バイナリ		修飾語分類項目 修飾語階層関係
6	病名詳細	病名情報の詳細	固定長バイナリ		病名基本 病名補助
7	修飾語詳細	修飾語情報の詳細	固定長バイナリ		修飾語 修飾語補助
8	キーワード詳細	キーワード情報の詳細	固定長バイナリ		キーワード 病名補助 修飾語補助
9	修飾語区分	修飾語区分に対応する名称	固定長バイナリ		修飾語区分名称
10	類似病名	類似病名の情報	固定長バイナリ		病名基本 病名補助

6.2.3. ファイルサイズ一覧

	テーブル名	データサイズ(Byte)	件数(推定)	ファイルサイズ(推定)
1	病名 Index	303	30000 件	9 MB
2	修飾語 Index	230	5000 件	1.1 MB
3	キーワード Index	124	210000 件	2.5 MB
4	病名階層関係 Index	9	33000 件	0.3 MB
5	修飾語階層関係 Index	9	5500 件	5.0 KB
5	病名詳細	586	30000 件	1.7 MB
6	修飾語詳細	229	5000 件	1.1 MB
7	キーワード詳細	16	420000 件	6.5 MB

	テーブル名	データサイズ(Byte)	件数(推定)	ファイルサイズ(推定)
8	修飾語区分	68	100 件	7KB
9	類似病名	9	5000 件	4.5KB

ヘッダーサイズ含まず

6.3 病名展開マスタ詳細

6.3.1. 病名 Index

記述形式

病名 ID,病名表記,病名表記カナ,詳細データ位置,類似病名位置 / 個数,採択区分,子ノード位置,病名正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID XXXXXXXXXX
2	病名表記	60	病名の表記または、分類項目名称 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
3	病名表記カナ	100	病名の表記カナ XXXXXXXXXXXXXXXXXX
4	詳細データ位置	8	病名詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
5	類似病名データ位置	8	類似病名データ位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
5	類似病名データ個数	4	類似病名ファイル内の該当データの個数 個数
6	採択区分	4	1:レベル1病名 2:レベル2病名 3:互換表記 1、2 or 3
7	子ノード位置	8	病名階層情報ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置
8	子ノード個数	4	病名階層情報ファイル内の該当データの個数 個数
9	病名コード正規化情報	94	他の病名表記と9個以内の修飾語との合成により表現できる情報。 病名マスタ - 病名補助テーブルの病名コード正規化情報がブランクの場合、自分の病名交換用コードを設定する。 +病名交換用コード+修飾語コード+...
10	病名交換用コード	4	病名交換用コード XXXX

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
3	病名個数	4	キーワード詳細ファイル内の該当データの個数 個数
4	修飾語位置	8	キーワード詳細ファイル内の該当データの位置 (Offset) 先頭 Byte 位置;個数
5	修飾語個数	4	キーワード詳細ファイル内の該当データの個数 個数

6.3.4. 病名階層関係 Index テーブル

記述形式

病名 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	病名 ID	9	任意のノードに対する子ノードの病名 ID 子ノード病名 ID

6.3.5. 修飾語階層関係 Index テーブル

記述形式

修飾語 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
			記述表現
1	修飾語 ID	9	任意のノードに対する子ノードの修飾語 ID 子ノード修飾語 ID

6.3.6. 病名詳細

記述表現は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

病名 ID,病名表記,病名表記カナ,採択区分,病名交換用コード,ICD10 - 1,ICD10 - 2,ICD10 確度,複数 ICD 候補,レセ電算コード,レセ電算対応表記,レセ電算対応確度,類似病名コード,接続修飾語区分コード,病名コード正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID
2	病名表記	60	病名表記名称または分類項目名称
3	病名表記カナ	100	病名表記のカナ文字列 分類項目の場合、ブランクとする。

項番	フィールド名	最大長	説明
4	採択区分	1	1:レベル1病名 2:レベル2病名 3:互換表記
5	病名交換用コード	4	採択区分が1、または2の病名に対して一意に設定されたコード
6	ICD10-1	5	プライマリ ICD10コード
7	ICD10-2	5	二重分類コード
8	ICD10確度	3	ICD10-1 フィールドの値の確度
9	複数 ICD 候補	150	ICD10 確度が Cxx の場合に可能性のある複数の ICD10 コードが最大10個設定される。
10	レセ電算コード	33	病名に対するレセ電算コード
11	レセ電算対応表記	60	レセ電算用語
12	レセ電算対応確度	1	1:異体字、修飾語の語順、接続詞の違いを除けば基本的に表記が一致するもの。 2:表記は異なるが保険請求上はほぼ同義のもの。 3:広義の用語であるが保険請求上は病名情報が伝わると考えられるもの。 9:対応なし
13	類似病名コード	4	近い概念と考えられる複数の病名のうち、任意の1病名の病名交換用コード
14	接続修飾語区分コード	49	接続頻度の高い修飾語の接続区分コード
15	病名コード正規化情報	94	病名表記が他の病名表記1個と9個以内の修飾語との合成により表現できる場合の情報
16	修飾語ジャンプ情報	9	修飾語ツリー検索時に使用する良く使う修飾語へのジャンプ情報(修飾語!D)

6.3.7. 修飾語詳細

記述表現は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

修飾語 ID,修飾語表記,修飾語表記カナ,修飾語コード,接続位置区分,修飾語区分,排他グループコード,
レセ電算修飾語コード,修飾語正規化情報

項番	フィールド名	最大長	説明
1	修飾語 ID	8	病名マスタ - 修飾語階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID
2	修飾語表記	40	修飾語表記名称または分類項目名称
3	修飾語表記カナ	60	修飾語表記名称のカナ 分類項目の場合、ブランクとする。
4	修飾語コード	9	修飾語コード
5	接続位置区分	2	接続位置区分
6	修飾語区分	8	修飾語のカテゴリーコード
7	排他グループコード	4	同時に使用できない修飾語の排他グループコード
8	レセ電算修飾語コード	4	レセ電算修飾語コード
9	修飾語コード正規化情報	94	修飾語表記が他の修飾語との合成により表現できる場合の情報
10	修飾語説明用ラベル	40	この修飾語の補足説明

6.3.8. キーワード詳細

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

病名マスタ - キーワードテーブルに登録されているデータ、病名マスタ - 病名補助テーブルの病名同義表記生成情報、および病名マスタ - 修飾語補助テーブルの修飾語同義表記生成情報を元に、キーワード詳細に展開する。

記述形式

コード,病名修飾語区分,カナ漢字区分,同義語区分,異字体区分,第1版採用表記,言語区分,省略区分

項番	フィールド名	最大長	説明
1	ID	9	病名IDまたは修飾語ID
2	病名修飾語区分	1	1:病名 2:修飾語
3	カナ漢字区分	1	1:漢字キーワード 2:カナキーワード 9:その他
4	同義語区分	1	0:病名また修飾語そのもの 1:病名または修飾語の同義語 2:病名または修飾語の同義語 3:上記以外、または検索用の部分文字列
5	異字体区分	1	1:誤記を含むキーワード
6	第1版採用表記	1	1:第1版での見出しである 2:上記ではない
7	言語区分	1	1:日本語キーワード 2:外国語キーワード
8	省略区分	1	1:略語 2:略語以外

6.3.9. 修飾語区分

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

修飾語区分,区分名称

項番	フィールド名	最大長	説明
1	修飾語区分	8	修飾語のカテゴリコード
2	区分名称		区分の名称

6.3.10. 類似病名

記述形式は、Index ファイルおよび病名マスタと同様とする。

記述形式

病名 ID

項番	フィールド名	最大長	説明
1	病名 ID	9	病名マスタ - 病名階層関係テーブルの階層項目区分 + 階層項目 ID

6.4 コーディング注意情報マスタ

コーディング注意情報マスタは CSV 形式で提供されるものとする。

6.4.1. 一覧

コーディング注意情報マスタは以下のテーブルから構成される。

	テーブル名	概要
1	コーディング注意情報テーブル	コーディング注意情報に関する情報が登録されている。

6.4.2. ファイルフォーマット

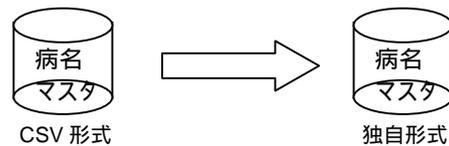
6.1.2 章(病名マスタ)と同じ

6.4.3. ファイル構造

項番	フィールド名	説明
		記述表現
1	ICD10-1	ICD10-1 コード
		XXXXXXXX
2	区分コード	区分コード(本 DB アクセス基本ライブラリでは使用しない。)
		XXXXXXXXXXXXXXXX
3	メッセージ	画面に表示する注意情報のメッセージ
		XXXXXXXXXXXXXXXX

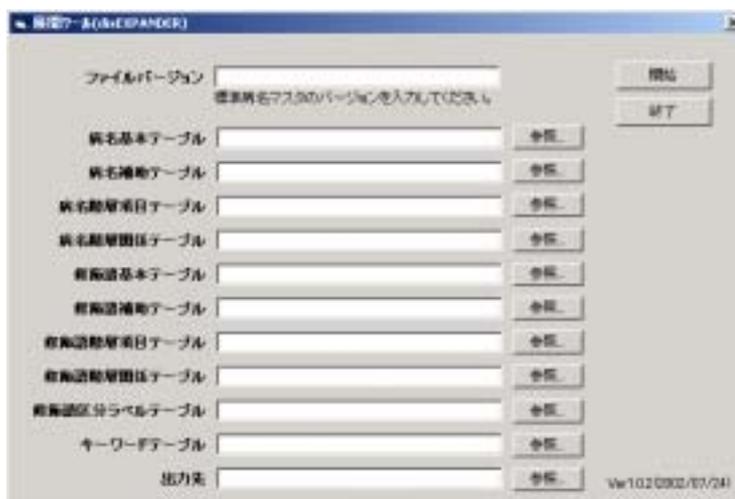
7 展開ツール

本システムでは CSV 形式の病名データを、本システムで使用する形式に展開するツールを提供する。
単独で動作するアプリケーションとして提供する。



病名マスタから病名展開マスタへの変換は、単なる形式の変換だけではなく、検索速度向上のために下記の処理を行う。

7.1 画面構成



- ・ ファイルバージョンには、展開元の標準病名マスタのバージョンを入力する。(最大30Byte まで)
(全ての展開ファイルの先頭にこのバージョンが付加される。)
- ・ 各々の入力欄に対応する、マスタファイル名をフルパスで入力する。
- ・ 出力先には、病名展開マスタファイルの出力先を指定する。(ファイル名はシステム規定の名称が使われる。)

指定された出力先ディレクトリが存在しない場合、自動的に作成される。

- ・ 『参照』ボタンを押下するとシステム標準のファイル選択ダイアログが表示される。
- ・ 『開始』ボタンを押下することにより、展開処理が実行され、処理が正常に終了すると、完了した旨のダイアログが表示される。
- ・ 致命的なエラーに関しては、その時点で処理を中止し、エラーダイアログを表示するが、データの不整合、データの不足等の場合、エラーログにエラーの内容を出力し、処理を継続する。
ログの出力先はファイルの出力先とする。

7.2 展開方法

全ファイルのデータをメモリ上に展開し作業を行う。

展開時に以下の5つの処理も実施する。

無効レコードの削除

無効区分が 1、および 9 のレコードは病名展開マスタには取りこまない。

同義表記生成情報の展開

同義表記生成情報から展開された病名、修飾語をキーワードに展開する。

キーワード文字の統一

キーワードの半角カナ 全角カナへの変換、全角英数字 半角英数字への変換、異字体の統一を行う。

異字体変換

全ての String 型データに対して異字体変換を行う。

固定長

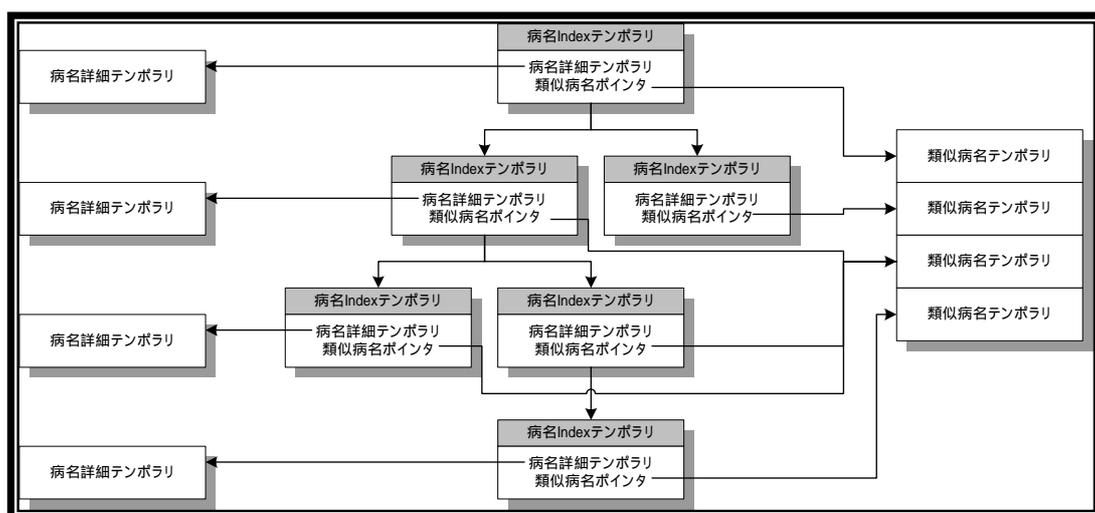
病名展開マスタは全て固定長バイナリ形式で管理するため、文字型のデータに関しては最大長に満たない場合、半角スペースで補う。

バージョンの付加

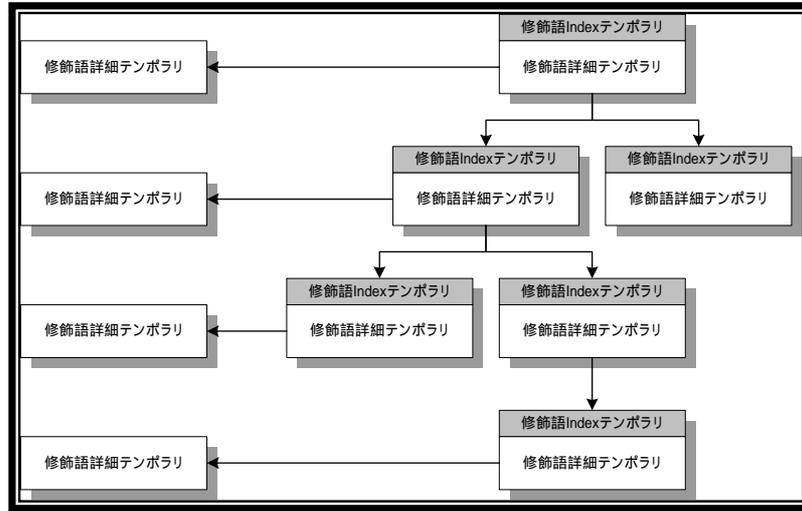
各病名展開マスタファイルの先頭にバージョン情報を付加する。(30 Byte 固定)

7.3 展開図

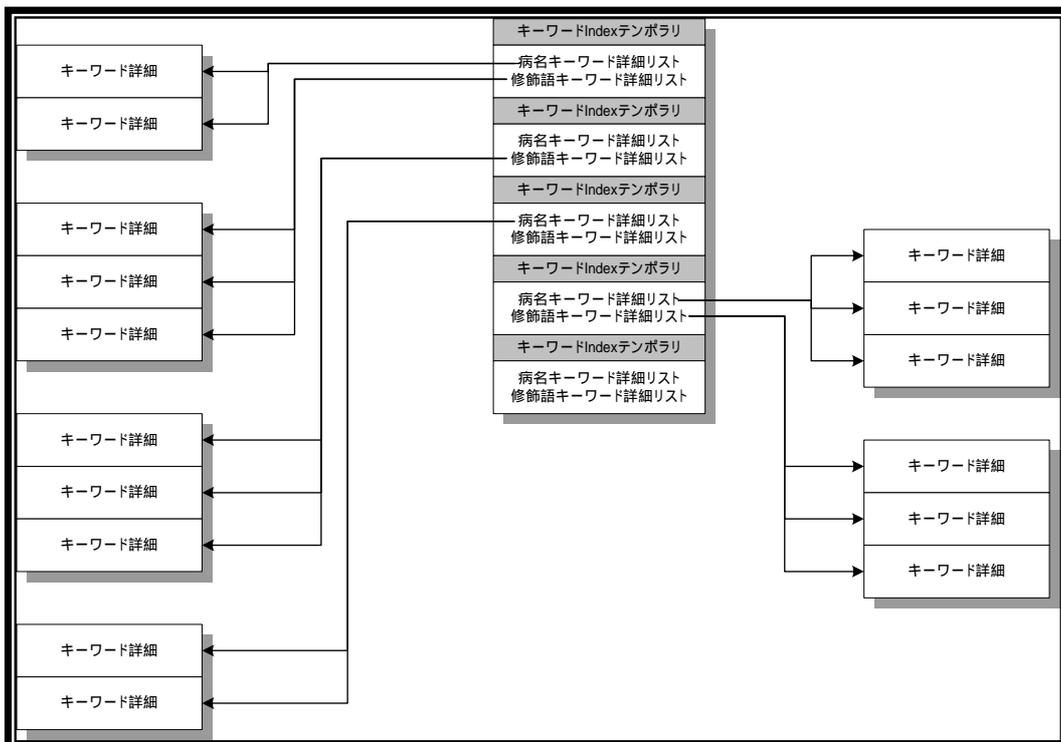
7.3.1. 病名関連



7.3.2. 修飾語関連



7.3.3. キーワード関連



7.4 展開ファイル名一覧

病名マスタから病名展開マスタへ変換した際の、ファイル名は以下の通りとする。

	テーブル名	ファイル名
1	病名 Index	DiseaseIndex.dat
2	修飾語 Index	ModifierIndex.dat
3	キーワード Index	KeywordIndex.dat
4	病名階層関係 Index	DiseaseTreeIndex.dat
5	修飾語階層関係 Index	ModifierTreeIndex.dat
6	病名詳細	DiseaseDetail.dat
7	修飾語詳細	ModifierDetail.dat
8	キーワード詳細	KeywordDetail.dat
9	修飾語区分	ModifierClassification.dat
10	類似病名	DiseaseResemble.dat

7.5 病名関連

7.5.1. 病名ツリー

病名階層関係テーブル、病名分類項目テーブルを読み込む。

読み込んだデータを元に病名 Index テンポラリ構造体のツリー構造を新規作成する。

子ノードは表示順で昇順ソートする。

7.5.2. 病名詳細

レコード数文繰り返す。

病名基本マスタ、病名補助テーブルを読み込む。

・病名基本マスタ、対応する病名補助テーブル共に無効区分 = 1、または 9 のレコードは展開しない。

(メッセージ1をログに書き出す。)

・病名補助テーブルに存在して、病名基本マスタに存在しないレコードも展開しない。

(メッセージ2をログに書き出す。)

・病名基本マスタに存在して、病名補助テーブルに存在しないレコードは、病名 Index を新規作成して展開する。

病名詳細テンポラリ構造体を新規作成する。

・病名コード正規化情報がブランクのものは、自分の病名交換用コードを設定する。

・採択区分が「1」、または「2」で、かつ病名 Index テンポラリ構造体に存在しないレコードは、病名 Index を新規作成して展開する。

・採択区分が「3」で、かつ同一の病名交換用コードを持つデータが病名 Index テンポラリ構造体に存在しない場合、展開しない。(メッセージ5をログに書き出す。)

同一の病名IDを持つ病名 Index テンポラリ構造体へ読み込んだデータを展開し、病名詳細テンポラリ構

造体への参照情報(ポインタ)を設定する。

・採択区分が「3」のデータに関しては、同一の病名交換用コードを持つ採択区分が「1」の病名(一意に決まる)と同一の親を持つように病名indexテンポラリ構造体を新規作成する。(表示順は採択区分「1」の病名の次として追加し、以降の病名をスライドさせる。)

病名補助テーブルの同義語表記生成情報を次項のルールに従って展開しキーワード Index テンポラリ構造体、キーワード詳細構造体を新規作成する。

キーワード詳細構造体へは以下の値を設定する。

	項目	値
1	ID	病名ID
2	病名修飾語区分	1(病名)
3	カナ漢字区分	1(漢字キーワード)
4	同義語区分	0(病名そのもの)
5	異字体区分	9
6	第1版採用表記	9
7	言語区分	2(日本語表記)
8	省略区分	9(略語以外)

平仮名キーワードが見つかった場合、片仮名に変換したキーワードを置き換える。

キーワードindexテンポラリ構造体の病名キーワード詳細リストへキーワード詳細構造体への参照を追加する。

、 を展開可能な同義語数文繰り返す。

同義語表記展開方法

以下の2つの記号で囲まれた文字を展開する。

[:省略可能文字

():カンマで区切られた文字列のどれか1つを使用する。

例1)同義語表記生成情報『高血圧[症]』の場合

高血圧と高血圧症に展開可能

例2)『胆(嚢,のう)結石[症]』の場合

胆石、胆嚢結石症、胆嚢結石、胆のう結石症、胆のう結石に展開可能。

結石症や結石などの部分文字列には展開しない。

メッセージ一覧

メッセージ番号	メッセージ内容
1	[病名表記番号]: 無効データのため展開しません。
2	[病名表記番号]: 病名基本マスタに登録されていないため展開しません。
3	[病名表記番号]: 病名補助テーブルに登録されていないため展開しません。
4	[病名表記番号]: 採択区分が1または2にもかかわらず病名階層関係テーブルに登録されていないため展開しません。

メッセージ番号	メッセージ内容
5	[病名表記番号]:採択区分が1または2の病名が登録されていないため展開しません。

7.5.3. 類似病名

すべての病名詳細テンポラリに対して実施する。

病名詳細テーブルから類似病名テンポラリ構造体を新規作成する。

病名詳細テンポラリ構造体へ類似病名テンポラリ構造体への参照情報(ポインタ)を設定する。

7.6 修飾語関連

7.6.1. 修飾語ツリー

修飾語階層関係テーブル、修飾語分類項目テーブルを読み込む。

読み込んだデータを元に修飾語 Index テンポラリ構造体のツリー構造を新規作成する。

子ノードは表示順で昇順ソートする。

7.6.2. 修飾語詳細

レコード数文繰り返す。

修飾語テーブル、修飾語補助テーブルを読み込む。

・修飾語テーブル、対応する修飾語補助テーブル共に無効区分 = 1、9 のレコードは展開しない。

(メッセージ1をログに書き出す。)

・修飾語補助テーブルに存在して、修飾語テーブルに存在しないレコードも展開しない。

(メッセージ2をログに書き出す。)

・修飾語テーブルに存在して、修飾語補助テーブルに存在しないレコードは、修飾語Indexを新規作成し展開する。

修飾語詳細テンポラリ構造体を新規作成する。

・修飾語コード正規化情報がblankのものは、自分の修飾語コードを設定する。

同一の修飾語IDを持つ修飾語 Index テンポラリ構造体へ読み込んだデータを展開し、修飾語詳細テンポラリ構造体への参照情報(ポインタ)を設定する。

修飾語補助テーブルの同義語表記生成情報を、病名と同様のルールに従って展開しキーワード Index テンポラリ構造体、キーワード詳細構造体を新規作成する。

・すでに同一のキーワードを持つキーワードIndexテンポラリ構造体が存在する場合、キーワードIndexテンポラリ構造体は新規作成しない。

キーワード詳細構造体へは以下の値を設定する。

	項目	値
1	ID	修飾語ID
2	病名修飾語区分	2(修飾語)
3	カナ漢字区分	1(漢字キーワード)

	項目	値
4	同義語区分	0(修飾語そのもの)
5	異字体区分	9
6	第1版採用表記	9
7	言語区分	2(日本語表記)
8	省略区分	9(略語以外)

平仮名キーワードが見つかった場合、片仮名に変換したキーワードを置き換える。

キーワードIndexテンポラリ構造体の修飾語キーワード詳細リストへキーワード詳細構造体への参照情報(ポインタ)を追加する。

、 を展開可能な同義語数文繰り返す。

メッセージ一覧

メッセージ番号	メッセージ内容
1	[修飾語管理番号]:無効データのため展開しません。
2	[修飾語管理番号]:修飾語テーブルに登録されていないため展開しません。
3	[修飾語管理番号]:修飾語補助テーブルに登録されていないため展開しません。

7.7 キーワード関連

7.7.1. キーワード

レコード数文繰り返す。

キーワードテーブルを読み込み、キーワード Index テンポラリ構造体、キーワード詳細構造体を新規作成する。

・同一の組み合わせのキーワード、病名ID(修飾語ID)持つキーワードIndex構造体がすでに存在した場合、キーワード詳細構造体の既存のデータを今取得したデータに置き換える。

平仮名キーワードが見つかった場合、片仮名に変換したキーワードを置き換える。

キーワード詳細構造体の以下の値のみ置き換える。

	項目	備考
1	ID	病名IDまたは修飾語ID
2	病名修飾語区分	
3	カナ漢字区分	
4	同義語区分	
5	異字体区分	
6	第1版採用表記	
7	言語区分	
8	省略区分	

・同一の組み合わせの病名ID(修飾語ID)、キーワードを持つレコードが存在しなかった場合、キーワードIndexテンポラリ構造体を新規作成し、キーワードテーブル - 病名修飾語区分を参照し、キーワードIndex テンポラリ構造体の病名キーワード詳細リスト、修飾語キーワード詳細リストのどちらかにキー

ワード詳細構造体への参照(ポインタ)を追加する。

7.7.2. 修飾語区分名称

CSV 形式のファイルから固定長バイナリ形式へファイルのフォーマットを変換する。(文字長が最大長に達していないものは、半角スペースを付加する。)

7.8 ファイル書き出し

類似病名テンポラリ構造体の内容を類似病名ファイルの形式に合わせて出力する。出力後、各データの出力先(バイト)を各類似病名テンポラリ構造体の類似病名データ位置、個数へ設定する。

病名詳細テンポラリ構造体の内容を病名詳細ファイルの形式に合わせて出力する。出力後、各データの出力先(バイト)を各詳細データの対応する病名 Index テンポラリ構造体の詳細データ位置へ設定する。

病名階層関係 Index ファイル作成し、病名 Index テンポラリ構造体の最下層から病名階層関係 Index ファイルの形式に合わせて出力する。出力後、各データの出力先、個数を親病名 Index テンポラリ構造体の各対応フィールドへ設定する。

病名 Index テンポラリ構造体の内容を病名 Index ファイルの形式に合わせて出力する。

類似病名データ位置、個数は、類似病名テンポラリ構造体(類似ポインタ先のデータ)の類似病名データ位置、個数を出力する。

修飾語も同様の処理方法でファイルへ出力する。(~ 必要の無い処理(類似病名の展開等)は行わなくて良い。)

キーワード Index テンポラリ構造体から病名キーワード詳細リストを取り出し、キーワード詳細ファイルの形式に合わせて出力する。出力後、出力先(バイト)と個数を、キーワードテンポラリ構造体の各対応するフィールドへ設定する。(1件も存在しない場合、実施しない。)

キーワード Index テンポラリ構造体から修飾語キーワード詳細リストを取り出し、キーワード詳細ファイルの形式に合わせて出力する。出力後、出力先(バイト)と個数を、キーワードテンポラリ構造体の各対応するフィールドへ設定する。(1件も存在しない場合、実施しない。)

キーワード Index テンポラリ構造体の内容を、キーワード Index ファイルの形式に合わせて出力する。

修飾語区分名称を出力する。

7.9 テンポラリ構造体

7.9.1. 病名 Index テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	病名 Index ファイル		病名 Index ファイルのフィールド全て
2	病名詳細テンポラリ	Integer	病名詳細テンポラリ構造体へのポインタ
3	類似病名ポインタ	Integer	類似病名テンポラリ構造体へのポインタ
4	親ノードポインタ	Integer	親ノードへのポインタ

7.9.2. 病名詳細テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	病名詳細ファイル		病名詳細ファイルのフィールド全て

7.9.3. 修飾語 Index テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	修飾語 Index ファイル		修飾語 Index ファイルのフィールド全て
2	修飾語コード	String	修飾語コード
3	修飾語詳細テンポラリ	Integer	修飾語詳細テンポラリ構造体へのポインタ

7.9.4. 修飾語詳細テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	修飾語詳細ファイル		修飾語詳細ファイルのフィールド全て

7.9.5. キーワード Index テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	キーワード Index ファイル		キーワード Index ファイルのフィールド全て
2	病名キーワード詳細リスト	Integer[]	キーワード詳細テンポラリ構造体へのポインタ
3	修飾語キーワード詳細リスト	Integer[]	キーワード詳細テンポラリ構造体へのポインタ
4	病名データ位置	Long	キーワード詳細ファイル内の位置(offset)
5	病名データ個数	Integer	病名キーワード詳細の個数
6	修飾語データ位置	Long	キーワード詳細ファイル内の位置(offset)
7	修飾語データ個数	Integer	修飾語キーワード詳細の個数

7.9.6. 類似病名テンポラリ構造体

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル/データ
1	類似病名リスト	String[]	類似病名 ID のリスト

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
2	類似病名データ位置	Integer	類似病名ファイル内の位置(offset)
3	類似病名個数	Integer	類似病名 ID の個数

8 データ構造

8.1 データ構造一覧

病名展開マスタを元に本システムでは以下のようなデータ構造を持つデータを取り扱う。

	データ	概要	データ保持方法	使用ファイル
1	病名 Index	病名 Index および階層関係ファイルを元に階層構造を持った病名情報を持つ。親ノード、子ノードの双方向ポインタを持つ。	メモリ	病名 Index 病名階層関係
2	修飾語 Index	修飾語 Index および階層関係ファイルを元に階層構造をもった修飾語情報を持つ。親ノード、子ノードの双方向ポインタを持つ。	メモリ	修飾語 Index 修飾語階層関係
3	キーワード Index	キーワード詳細への Index 情報を持つ。	メモリ	キーワード Index
4	病名詳細	病名情報の詳細 病名 Index はこの詳細へのポインタ(行番号)を持つ。	ファイル	病名詳細
5	修飾語詳細	修飾語情報の詳細 修飾語 Index はこの詳細へのポインタ(行番号)を持つ。	ファイル	修飾語詳細
6	キーワード詳細	キーワード情報の詳細 キーワード Index はこの詳細へのポインタ(行番号および個数)を持つ。	ファイル	キーワード詳細
7	修飾語区分	修飾語区分に対応する名称	メモリ	修飾語区分
8	類似病名	類似病名の情報 病名 Index はこの情報へのポインタ(行番号および個数)を持つ。	ファイル	類似病名

データ保持方法:メモリ 全データをメモリに保持する。ファイル 必要時に毎回、読み込む。

8.2 データ構造図

別紙データ構造図を参照のこと。

8.3 メモリ上に展開するデータのサイズ

病名表記、正規化情報等、実サイズが不定のものは各最大長の7割で計算した。

	データ	サイズ(Byte)	件数(推定)	サイズ(推定)
1	病名 Index	149	33000 件	4.7 MB
2	修飾語 Index	141	5500 件	0.8 MB
3	キーワード Index	94	210000 件	1.9 MB
4	修飾語区分	50	100 件	5 KB

8.4 構成

8.4.1. 病名 Index

親ノード、子ノードの双方向ポインタを持ち、ツリー構造の状態でもメモリに保持する。

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	病名 ID	String	病名 Index / 病名 ID
2	病名表記	String	病名 Index / 病名表記
3	病名表記カナ	String	病名 Index / 病名表記カナ
4	詳細データ位置	Long	病名 Index / 詳細データ位置
5	類似病名データ位置	Long	病名 Index / 類似病名データ位置
6	採択区分	String	病名 Index / 採択区分
7	親ノードポインタ	Integer[]	親ノードへのポインタリスト
8	子ノードポインタ	Integer[]	子ノードへのポインタリスト
9	病名コード正規化情報	String	病名 Index / 病名コード正規化情報
10	病名交換用コード	String	病名 Index / 病名交換用コード

8.4.2. 修飾語 Index

親ノード、子ノードの双方向ポインタを持ち、ツリー構造の状態でもメモリに保持する。

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	修飾語 ID	String	修飾語 Index / 修飾語 ID
2	修飾語表記	String	修飾語 Index / 修飾語表記
3	修飾語表記カナ	String	修飾語 Index / 修飾語表記カナ
4	修飾語区分	String	修飾語 Index / 修飾語区分
5	詳細データ位置	Long	修飾語 Index / 詳細データ位置
6	親ノードポインタ	Integer[]	親ノードへのポインタリスト
7	子ノードポインタ	Integer[]	子ノードへのポインタリスト
8	修飾語コード正規化情報	String	修飾語 Index / 修飾語コード正規化情報
9	排他グループコード	String	修飾語 Index / 排他グループコード

8.4.3. キーワード Index

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	キーワード	String	キーワード Index / キーワード
2	病名位置	Long	キーワード Index / 病名位置
3	病名個数	Integer	キーワード Index / 病名個数
4	修飾語位置	Long	キーワード Index / 修飾語位置
5	修飾語個数	Integer	キーワード Index / 修飾語個数

8.4.4. 修飾語区分

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	修飾語区分	String	修飾語区分 / 修飾語区分

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
2	区分名称	String	修飾語区分 / 区分名称

8.4.5. コーディング注意情報

項番	フィールド名	データ型	対応テーブル / データ
1	ICD10-1 コード	String	コーディング注意情報 / ICD10-1 コード
2	区分コード	String	コーディング注意情報 / 区分コード
3	メッセージ	String	コーディング注意情報 / メッセージ

8.4.6. その他

上記以外のデータ構造は各ファイルの構造と同一とする。

9 メッセージ

病名 DB 基本アクセスライブラリ、ActiveX コントロール DLL 内で発生したエラーに対応するメッセージとのマッピングは各アプリケーションが行う。(展開ツールはメッセージ埋め込みのアプリケーションとする。)

エラーメッセージは、テキストファイルで管理しアプリケーションと同一のディレクトリに配置する。

9.1 記述形式

1行にエラーID、エラーメッセージを対にして記述する。

エラーIDとエラーメッセージのセパレートとして「=(半角イコール)」を使用する。複数のイコールが記述されていた場合、左端から検索し、最初に見つかった「=」で区切ることとする。

記述形式

エラーID;エラーメッセージ

コメントは行の先頭に「#」を付加する。

例)

100000=1件も見つかりませんでした。

100001=この修飾語は追加できません。

9.2 メッセージ ID

メッセージ ID は各ファイル単位で ID を振る。

項番	ライブラリ、コントロール、アプリ名	メッセージ種	ID
1	DB アクセス基本ライブラリ	通常	100000 ~ 149999
		エラー	150000 ~ 199999
2	病名検索 ActiveX	通常	200000 ~ 249999
		エラー	250000 ~ 299999
3	システム予約 (現在未使用)	通常	300000 ~ 349999
		エラー	350000 ~ 399999
4	システム予約 (現在未使用)	通常	400000 ~ 449999
		エラー	450000 ~ 499999
5	システム予約 (現在未使用)	通常	500000 ~ 549999
		エラー	550000 ~ 599999
6	展開ツール	通常	600000 ~ 649999
		エラー	650000 ~ 699999
7	空き	通常	700000 ~ 749999
		エラー	750000 ~ 799999
8	サンプルアプリケーション	通常	800000 ~ 849999
		エラー	850000 ~ 899999
9	システム予約	通常	900000 ~ 949999
		エラー	950000 ~ 999999

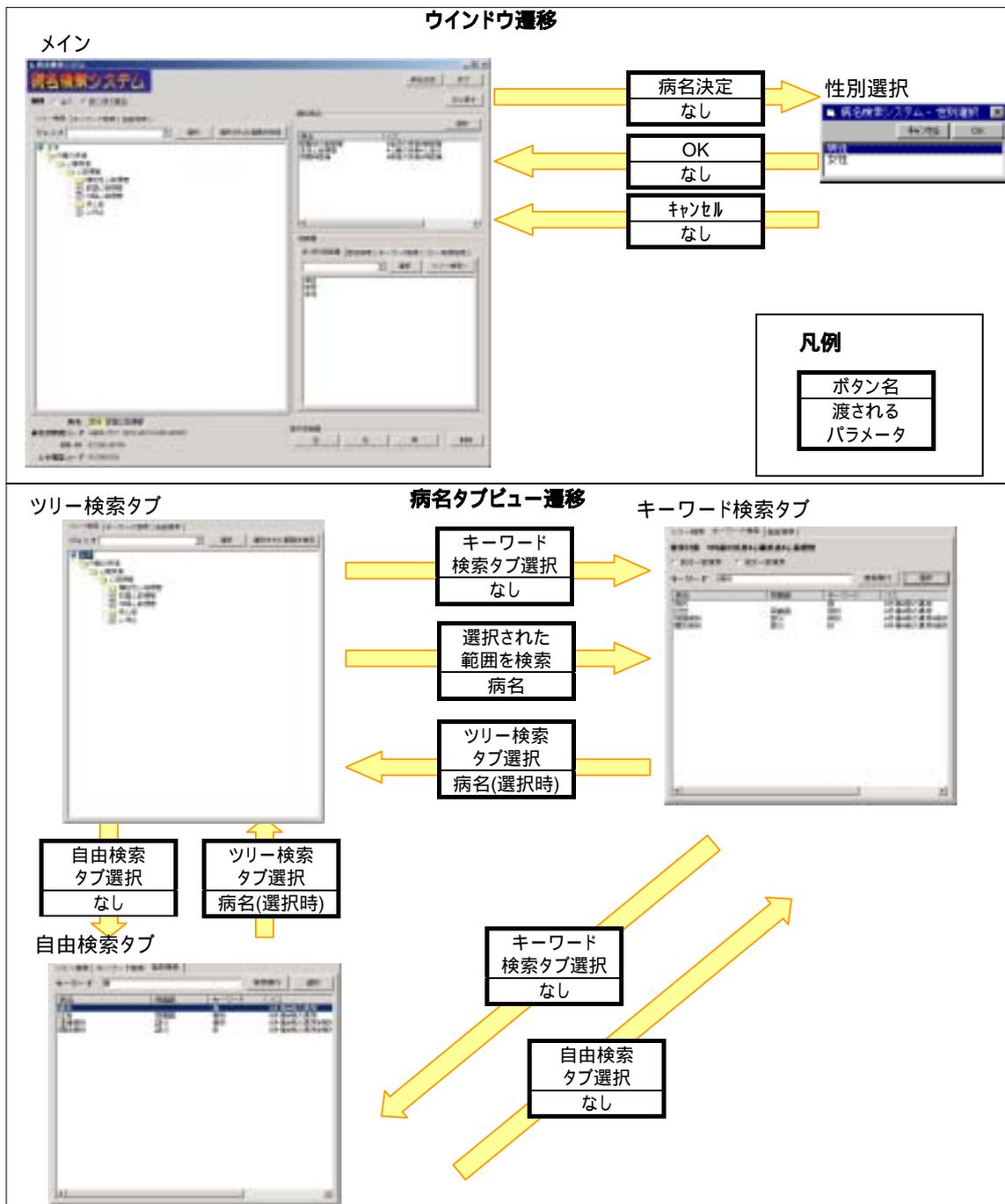
9.3 サンプルアプリケーション

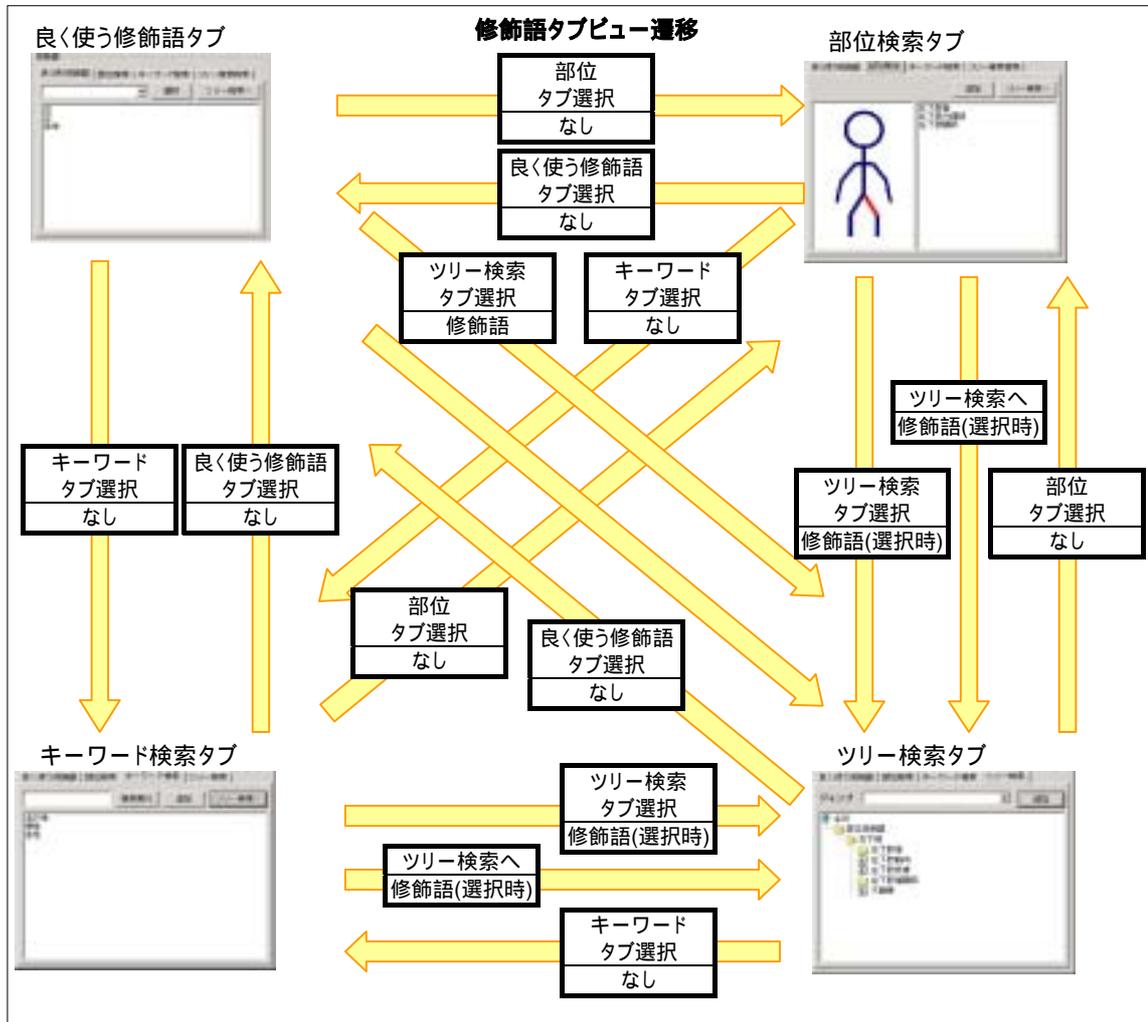
サンプルアプリケーションのメッセージファイル

ファイル名: SampleApp.msg

10 サンプルアプリケーション

10.1 画面展開





10.2 動作環境

サンプルアプリケーションは以下の環境で正しく動作するように作成する。

1	画面サイズ	1024x768以上
2	画面の色	High Color (16bit)
3	画面のフォントサイズ	小さいフォント
4	スクロールバー	16
5	アクティブウィンドウの境界	1

10.3 Undo 機能

サンプルアプリケーションは以下の操作の Undo 機能(1操作前まで)を持つ。

	機能	概要
1	病名選択の Undo	病名を再選択すると修飾語はクリアされるが、Undo を実施すると修飾語を含めて以前の病名(病名選択操作直前の状態)に戻す。
2	修飾語追加の Undo	修飾語追加操作直前の状態に戻す。
3	修飾語削除の Undo	修飾語削除操作直前の状態に戻す。

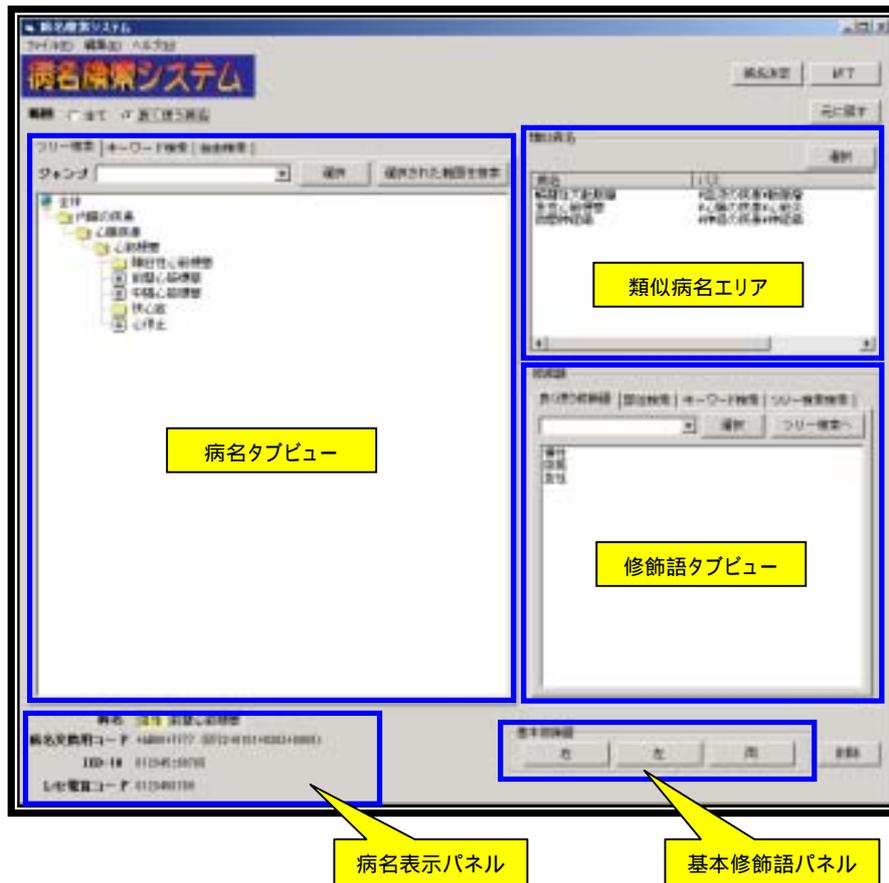
10.4 メインウィンドウ

病名の検索他修飾語の検索を行うメイン画面である。タブの切り替えでツリー検索、キーワード検索等を行うことができる。

以下のコントロールでは TABCTL32 ライブラリのコントロールを使用している箇所があるが、TABCTL32 自体の機能に関する記述は省略する。詳細が知りたい場合、TABCTL32.OCX のドキュメントを参照すること。

10.4.1. 構成

病名タブビュー、類似病名エリア、修飾語タブビュー、病名表示パネル、基本修飾語パネル、その他のエリアの6つから構成される。



10.4.2. 病名タブビュー

病名タブビューは3つのタブに分かれる。

- ツリー検索
- キーワード検索
- 自由検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
病名タブビュー	TABCTL32 の SSTab	BackColor	&H800000F&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		Height	8895
		TabIndex	3
		Width	7575
		その他	コントロールの規定値

タブ名称

項番	名称	Index
1	ツリー検索	0
2	キーワード検索	1
3	自由検索	2

10.4.3. 病名ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	ジャンプ
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプドロップダウン	ComboBox	BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000008&
		Style	0(ドロップダウンコンボ)
		TabIndex	4
	イベント	処理	
	Change	引数に現在選択されている病名パスをセットして病名ツリー検索ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名ツリー検索ビュー	DiseaseTreeSearchView	TabIndex	5
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	6
	イベント	処理	
Click	病名ツリー検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名パネルへ病名 ID をセットする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
範囲検索ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択された範囲を検索
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	7
	イベント	処理	
Click	病名ツリー検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名キーワード検索ビューに病名パス、範囲(レベル1 or レベル2)をセットする。 キーワード検索タブに遷移する。 セレクションされている病名の子孫のみが検索対象となる。		

ジャンプドロップダウン項目

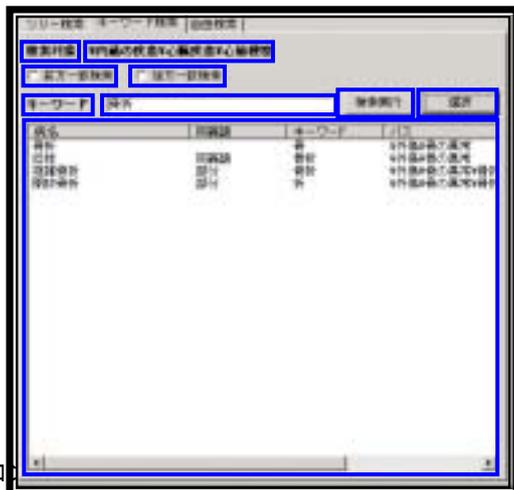
INI ファイルに設定されているジャンプ情報を元に項目リストを作成する。

表示順は INI ファイルに記述されている順番とする。

表示項目は表示名とする。

10.4.4. 病名キーワード検索

コントロール構成



コ

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索対象ラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	検索対象
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索対象病名パスラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	ブランク
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
前方一致オプションボタン	OptionButton	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	前方一致検索
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	8
		Value	True
その他	コントロールの規定値		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
後方一致オプションボタン	OptionButton	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
タン		Caption	後方一致検索
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	9
		Value	False
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワードラベル	Label	Allignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	キーワード
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	TextBox	Allignment	0(左揃え)
		BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	10
		Text	ブランク
その他	コントロールの規定値		

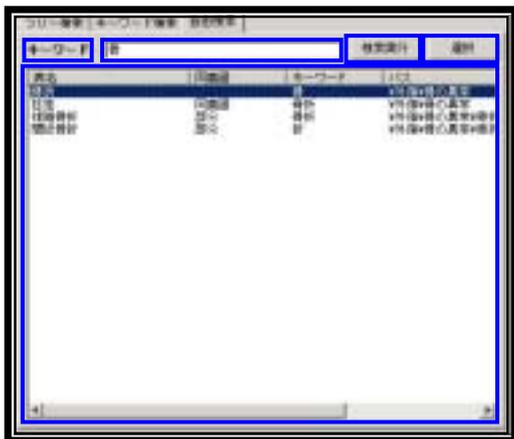
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	検索実行
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	12
	イベント	処理	
Click	病名パス、検索方法(前方、後方一致)、キーワードを引数として病名キーワード検索ビューの検索を実行する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	13
	イベント	処理	
Click	病名キーワード検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索ビューに病名パスを設定する 病名パネルに病名 ID をセットする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名キーワード 検索ビュー	DiseaseKeywordSearchView	TabIndex	11
		全て	コントロールの規定値

病名自由検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワードラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	キーワード
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	TextBox	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	14
		Text	ブランク
その他	コントロールの規定値		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	検索実行
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	16
	イベント	処理	
Click	キーワードを引数として病名自由検索ビューの検索を実行する。検索方法は部分一致とする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	17
	イベント	処理	
Click	名自由検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索ビューに病名パスを設定する。 病名パネルに病名 ID をセットする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名キーワード 検索ビュー	DiseaseFreeSearchView	TabIndex	14

10.4.5. 修飾語タブビュー

修飾語タブビューは 4 つのタブに分かれる。

- 良く使う修飾語
- 部位検索
- キーワード検索
- ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
修飾語フレーム	Frame	BackColor	&H8000000F&
		Caption	修飾語
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		Height	5295
		Width	5535
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
修飾語タブビュー	TABCTL32 の SSTab	BackColor	&H8000000F&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		Height	4815
		TabIndex	18
		Width	5295
		その他	コントロールの規定値

タブ名称

項番	名称	Index
1	良く使う修飾語	0
2	部位検索	1
3	キーワード検索	2
4	ツリー検索	3

10.4.6. 良く使う修飾語

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ドロップダウン	ComboBox	BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000008&
		Style	0(ドロップダウンコンボ)
		TabIndex	19
	イベント	処理	
	Change	引数に現在選択されている部位修飾語区分をセットして良く使う修飾語ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
良く使う修飾語ビュー	ConnectiveModifierSearchView	TabIndex	20
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	21
		イベント	処理
	Click	良く使う修飾語ビューからセクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。	

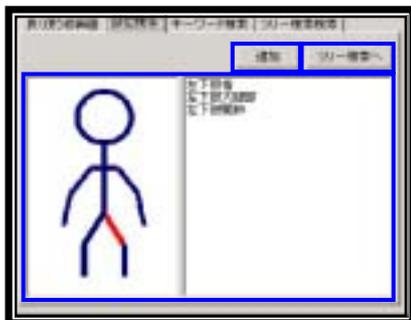
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	CommandButton	BackColor	&H800000F&
		Caption	選択された範囲を検索
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	22
	イベント	処理	
Click	良く使う修飾語ビューからセクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。 修飾語ツリー検索タブに遷移する。		

ドロップダウン項目

DB アクセス基本ライブラリの「良く使う修飾語区分ドロップダウン項目検索メソッド」を呼び出し、項目を取得する。

10.4.7. 修飾語部位検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
部位修飾語検索ビュー	PartModifierSearchView	TabIndex	23
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	追加
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	24
	イベント	処理	
Click	部位修飾語検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択された範囲を検索
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	25
	イベント	処理	
Click	部位修飾語検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。 修飾語ツリー検索タブに遷移する。		

10.4.8. 修飾語キーワード検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
修飾語キーワード検索ビュー	ModifierKeywordSearchView	TabIndex	28
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
キーワード入力	TextBox	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	26
		Text	ブランク
		その他	コントロールの規定値

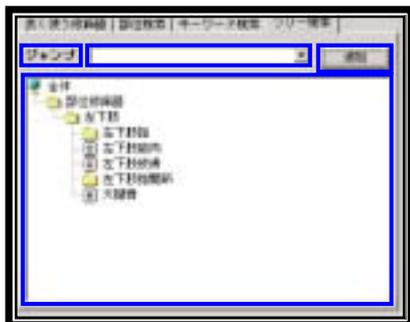
コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
検索ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	検索実行
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	27
	イベント	処理	
Click	検索方法(前方一致)、キーワードを引数として修飾語キーワード検索ビューの検索を実行する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	追加
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	29
	イベント	処理	
Click	修飾語キーワード検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 病名パネルへ修飾語 ID を追加する。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ツリー検索へ	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択された範囲を検索
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	30
	イベント	処理	
Click	修飾語キーワード検索ビューからセレクションされている修飾語の修飾語 ID を取得する。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、修飾語ツリー検索ビューに修飾語 ID を設定する。 修飾語ツリー検索タブに遷移する。		

10.4.9. 修飾語ツリー検索

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	ジャンプ
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
ジャンプドロップダウン	ComboBox	BackColor	&H80000005&
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000008&
		Style	0(ドロップダウンコンボ)
		TabIndex	31
	イベント	処理	
	Change	引数に現在選択されている病名パスをセットして病名ツリー検索ビューの検索を実行する。	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
修飾語ツリー 検索ビュー	ModifierTreeSearchView	TabIndex	32
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
追加ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	追加
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	33
	イベント	処理	
Click	修飾語ツリー検索ビューからセレクションされている病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名パネルへ病名 ID をセットする。		

ジャンプドロップダウン項目

DB アクセス基本ライブラリの「修飾語ジャンプドロップダウン項目検索メソッド」を呼び出し、項目を取得する。
病名 ID を修飾語ツリー検索ビューに渡していない場合は、項目は空。

10.4.10. 類似病名エリア

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
類似病名フレーム	Frame	BackColor	&H8000000F&
		Caption	類似病名
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		Height	3660
		Width	5625
	その他	コントロールの規定値	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
類似病名検索ビュー	DiseaseResembleSearchView	TabIndex	34
		全て	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
選択ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	選択
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	35
	イベント	処理	
	Click	類似病名検索ビューからセレクションされている病名パス、病名 ID を取り出す。 エラーが発生したかどうかをチェックし、エラーが発生していなかった場合、病名ツリー検索へ病名パスを設定し、病名パネルへ病名 ID をセットする。	

10.4.11. 病名表示パネル

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名表示パネル	DiseasePanel	全て	コントロールの規定値

10.4.12. 基本修飾語パネル

コントロール構成



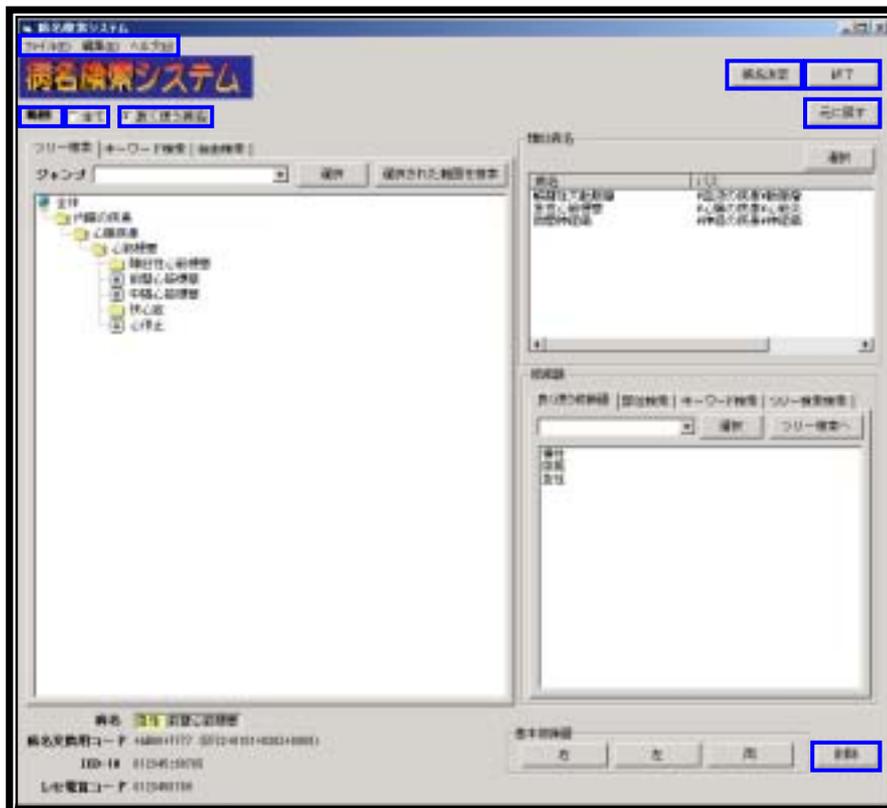
コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	プロパティ値
基本修飾語フレーム	Frame	BackColor	&H8000000F&
		Caption	基本修飾語
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		Height	735
		Width	4695
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名表示パネル	DiseasePanel	TabIndex	36
		全て	コントロールの規定値

10.4.13. その他

コントロール構成



コントロール詳細

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
範囲ラベル	Label	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	範囲
		Font	強調フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		その他	コントロールの規定値

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
全てオプションボタ	OptionButton	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	全て
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	1
		Value	True
その他	コントロールの規定値		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
良く使う病名オプション ボタン	OptionButton	Alignment	0(左揃え)
		BackColor	&H8000000F&
		Caption	良く使う病名
		Font	標準フォントタイプ
		ForeColor	&H80000012&
		TabIndex	2
		Value	False
	その他	コントロールの規定値	

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
病名決定ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	病名決定
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	38
	イベント	処理	
Click	ICD10 確度が「C01」の場合、性別選択ダイアログを表示する。 病名パネルをクリアする。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
終了ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	終了
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	39
	イベント	処理	
Click	アプリケーションの終了		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
元に戻すボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	元に戻す
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	37
	イベント	処理	
Click	1つ前の状態へ戻す。		

コントロール名	コントロールタイプ	プロパティ	初期プロパティ値
削除ボタン	CommandButton	BackColor	&H8000000F&
		Caption	削除
		Font	標準フォントタイプ
		TabIndex	38
	イベント	処理	
Click	病名パネルの修飾語削除メソッドを呼び出す。		

メニュー項目



メニュータイトル	メニュー項目	アクセラレートキー	ショートカットキー	概要
ファイル		ALT + F		
ファイル	終了	ALT + Q	CTRL + Q	アプリケーションの終了
編集		ALT + E		
編集	元に戻す	ALT + Z	CTRL + Z	1操作前の状態へ戻す
編集	病名の削除	ALT + X	CTRL + X	病名を削除する
ヘルプ		ALT + H		
ヘルプ	バージョン情報	ALT + A	CTRL + A	バージョン情報を表示する。

11 INI ファイル

このファイルにはサンプルアプリケーションを実行するために必要な諸情報が記述されている。

ファイルの配置場所は、アプリケーション EXE と同一の場所とする。

11.1 記述形式

テキスト形式で属性と値のセパレータは「=(半角イコール)」とする。

各属性はそれぞれ「キー」となるグループ名を持つ。キーは各属性グループの先頭行に「[キー名]」の形で記述する。

コメントは行の先頭に「#」を付加する。

例)

[メッセージファイル]

メッセージファイル = SampleApp.msg

[良く使う病名]

良く使う病名 = 骨折;¥内臓の疾患¥心臓疾患¥心筋梗塞

11.2 属性一覧

ファイル名を設定する箇所は項番 1 はフルパスで設定する。それ以外はファイル名だけとする。

項番	属性名	内容	規定値	記述形式
1	メッセージファイル	メッセージファイルのファイル名	SampleApp.msg	『フルパスファイル名』
2	良く使う病名個数	良く使う病名の個数	なし	『個数』
3	良く使う病名 n	病名ツリー検索のジャンプドロップダウン項目 複数回記述可 n の位置に連番を振る。	なし	『表示名;病名パス』
4	部位エリア個数	部位エリア情報の個数	なし	『個数』
5	部位エリア n	部位エリア情報 複数回記述可 対応画像フォーマットは JPEG、GIF、BMP およびメタ ファイル(WMF.EMF)のみ	なし	『修飾語区分;頂点 1X 座標,Y 座標;頂点 2X 座標,Y 座標;頂点 3X 座標,Y 座標;画像ファ イル名』修飾語区分 には「L(左)」、「 R(右)」、「N(左記以 外)」のどれか 1 つを 付加する。
6	部位基本画像	部位画像の基本画像 対応画像フォーマットは JPEG、GIF、BMP およびメタ ファイル(WMF.EMF)のみ	Basic.jpg	『ファイル名』
7	病名 Index	病名 Index ファイル名	DiseaseIndex.dat	『ファイル名』
8	修飾語 Index	修飾語 Index ファイル名	ModifierIndex.dat	『ファイル名』
9	キーワード Index	キーワード Index ファイル	KeywordIndex.dat	『ファイル名』

項番	属性名	内容	規定値	記述形式
10	階層関係 Index	階層関係 Index ファイル	TreeIndex.dat	『ファイル名』
11	病名詳細	病名詳細ファイル	DiseaseDetail.dat	『ファイル名』
12	修飾語詳細	修飾語詳細ファイル	ModifierDetail.dat	『ファイル名』
13	キーワード詳細	キーワード詳細ファイル	KeywordDetail.dat	『ファイル名』
14	修飾語区分	修飾語区分名称ファイル	Modifier Classification.dat	『ファイル名』
15	類似病名	類似病名ファイル	Disease Resemble.dat	『ファイル名』
16	画像データディレクトリ	画像データ(項番5、6)のディレクトリ名	なし	『ディレクトリ名』
17	病名データディレクトリ	病名データ(項番7～15)のディレクトリ名	なし	『ディレクトリ名』

12 改訂履歴

バージョン	第 0.6 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 10
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・誤記を修正 ・病名 DB アクセス基本ライブラリのインターフェースを削除し、全角半角変換に統合 全角半角カナ変換 全角半角アルファベット変換 ・病名 DB アクセス基本ライブラリのインターフェースにハイフン変換を追加 ・病名展開マスタの修飾語詳細に修飾語説明ラベルを追加 ・展開ツールの展開方法に関する記述を変更 ・病名 DB アクセス基本ライブラリの以下のインターフェースに引数「推奨」を追加 病名キーワード検索 修飾語キーワード検索 ・病名マスタの病名情報展開方法に関して補足を追記 ・病名基本 DB アクセスの以下の 2 つのインターフェース名を変更 病名ノード検索 修飾語ノード検索 ・病名ツリー検索ビュー プロパティ名「PrStrDiseasePath」を「PrStrDiseaseResultPath」に変更 イベント一覧のアプリがイベントを拾えるかを変更 ・病名キーワード検索ビュー DiseaseKeyword プロパティを削除 プロパティ名「PrStrDiseaseWord」を「PrStrDiseasePath」に変更 プロパティ「PrStrDiseaseResultPath」を追加 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加 イベント一覧のアプリがイベントを拾えるかを変更 ・病名自由検索ビュー プロパティ「ModifierKeyWord」を削除 プロパティ「PrStrDiseaseResultPath」を追加 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加 イベント一覧のアプリがイベントを拾えるかを変更 ・類似病名検索ビュー プロパティ「DiseasePath」を削除 プロパティ「PrStrDiseaseID」を削除 プロパティ「PrStrDiseaseResultPath」を追加 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加 イベント一覧のアプリがイベントを拾えるかを変更 ・病名パネル メソッド「GetDiseaseValue」「GetDiseaseCodeAfter」「GetDiseaseCodeBefore」 「GetICD10」「GetReseCode」の引数を変更 メソッド「GetSelection」「GetDiseaseID」「GetModifierIDs」「CreatePanel」を追加 ・良く使う修飾語ビュー ComboBox に説明を追記 プロパティ「PsStrDiseaseID」の備考欄に追記 イベント一覧を全体的に修正 コンボボックスの表示方法を追記 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加 ・修飾語ツリー検索 ComboBox に説明を追記 プロパティ「PrStrModifierID」を「PrStrModifierResultPath」に変更し、備考を修正

	<p>プロパティ「PrStrModifierPath」を削除 プロパティ「PrDiseaseID」の備考に追記 イベント一覧を全体的に修正 コンボボックスの表示方法を追記 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加、備考を修正 プロパティ「PrDiseaseID」の備考を修正 ・修飾語キーワード検索ビュー プロパティ「PrStrModifierResultID」を追加 イベント一覧のアプリがイベントを拾えるかを変更 メソッド「ListViewSearch」の引数を追加 ・修飾語部位検索ビュー プロパティ「PrStrModifierID」を「PrStrModifierResultID」に変更 プロパティ「PrStrConnective」を追加 メソッド「ImageChange」を追加 イベント一覧を全体的に修正 ・データ構造 病名 Index、修飾語 Index の親ノードポインタ、子ノードポインタのデータ型を変更 ・メッセージ 説明を修正。展開ツールのメッセージはアプリケーション埋め込みに変更。</p>
--	---

バージョン	第 0.7 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 21
内容	<p>・5.6 章 共通プロパティの「xxxFont設定」はTreeViewとImageを除くとなっているが、ImageViewのみ除くというように変更 ・9 章 IDとメッセージのセパレータを「;」から「=」に変更</p>

バージョン	第 0.8 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 23
内容	<p>・5.9.4 章 ListViewSearchの引数に「最大検索件数」を追加 ・5.10.4 章 ListViewSearchの引数に「検索方法」、「パス」、「最大検索件数」を追加 ・5.15.4 章 ListViewSearchの引数に「最大検索件数」を追加 ・4.4.3 章 SearchDisease を SearchDiseaseKeyword に変更 ・5.9.3 章 検索系のプロパティ「最大検索件数」を追加 ・5.10.3 章 検索系のプロパティ「最大検索件数」を追加 ・5.15.3 章 検索系のプロパティ「最大検索件数」を追加 ・P86 検索ボタンの処理を追記 ・5.16.3 章 プロパティ「Monopolize」の備考に追記 ・5.16.8 章 新規追加 ・5.14.3 章 プロパティ「JumpComboBoxLeft」を削除</p>

	・5.16.3 章 プロパティ「ImageLeft」を削除
--	----------------------------------

バージョン	第 0.9 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 24
内容	・5.6 章 ForeColor、BackColorの設定不可コントロールにCommandButtonを追加 ・5.12.3 章 プロパティに補足説明を追加 プロパティ「ViewLabel」を追加

バージョン	第 0.95 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 6 / 6
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4.4.1 章 初期化の引数を変更 ・5.8.5 章 イベントの説明を修正 ・5.14.5 章 イベントの説明を修正 ・4.4.6 章 検索結果構造体の型を「StructResultConnectiveModifierCategoryList」に変更 ・5.9.4 章 GetLastErrorCode メソッドの引数、戻り値を修正 ・5.13.3 章 JumpComboBoxFont のプロパティを削除(共通のプロパティとして定義しているため) ・5.14.3 章 JumpComboBoxFont のプロパティを削除(共通のプロパティとして定義しているため) ・5.13.4 章 CreateComboltems を追加 ・5.14.4 章 CreateComboltems を追加 ・7.9.1 章 フィールド「親ノードポインタ」を追加 7.9.3 章 誤記を修正 「病名indexファイル」 「修飾語indexファイル」 11.2 章 部位エリアの誤記を修正 「修飾語区分が2回記述されていた」 5.9.3 章 プロパティ「推奨」を追加 5.10.3 章 プロパティ「推奨」を追加 全体 プロパティ「BasicDBAccess」は値の取得と設定が可能と規定していたが値の設定のみ可能に変更 4.4.19 章 修飾語ソートの引数を変更 4.4.12 章 引数に「病名ID」を追加

バージョン	第 1.0 版
作成者	熊澤 祐輔

年月日	2001 / 6 / 12
内容	正式版

バージョン	第 1.1 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 6 / 15
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4.4.23 章 引数を変更「変換タイプ」「カナ変換タイプ」、「英数字変換タイプ」 ・6.1.1 章 マスタファイルの名称を変更 「病名分類項目テーブル」「病名階層項目テーブル」 「修飾語分類項目テーブル」「修飾語階層項目テーブル」 5.11.3 章 検索系プロパティ「類似元病名 ID」を追加 4.2 章 ユーティリティ的なインターフェースに「GetBasicModifierID」を追加 4.4.28 章 「GetBasicModifierID」の説明を追加

バージョン	第 1.2 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 7 / 23
内容	<ul style="list-style-type: none"> 4.4.19 章 引数を修正 4.5.1 章、4.5.2 章、4.5.3 章、4.5.4 章、4.5.5 章、4.5.6 章、4.5.7 章、4.5.8 章、4.5.9 章、 4.5.10 章、4.5.11 章、4.5.12 章、4.5.13 章 構造体名から「Struct」を削除 11.1 章 INIファイルの記述形式を修正 属性値「良く使う修飾語個数」と「部位エリア個数」を追加

バージョン	第 1.3 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 10 / 08
内容	<ul style="list-style-type: none"> 7.5.2 章 「病名基本マスタに存在して、病名補助テーブルに存在しないレコードも展開しない。」 「病名基本マスタに存在して、病名補助テーブルに存在しないレコードの場合、病名index を新規作成して展開する。」に変更 「採択区分が「1」、または「2」で、かつ病名indexテンポラリ構造体に存在しないレコード は展開しない。」 「病名indexを新規作成して展開する。」に変更 7.6.2 章 「修飾語テーブルに存在して、修飾語補助テーブルに存在しないレコードも展開しない。」 「修飾語indexを新規作成して展開する。」に変更。

バージョン	第 1.4 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 10 / 29
内容	<ul style="list-style-type: none"> 11.2 章 パラメータを2つ追加(項番16、17) 上記にパラメータ追加によりファイル名の記述方法を項番1はフルパスファイル名、それ以外はファイル名だけ記述するに変更

バージョン	第 1.5 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 12 / 05
内容	5.13.7 章 ドロップダウン項目の生成方法を修正

バージョン	第 1.6 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 02 / 06
内容	10.4.7 章 「ツリー検索へ」、「追加」ボタンの「Click」イベント内容を修正 10.4.8 章 「ツリー検索へ」、「追加」ボタンの「Click」イベント内容を修正 6.1.1 章 病名(修飾語)階層項目テーブルの概要に補足説明を追記

バージョン	第 1.7 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 02 / 27
内容	4.2 章 基本インターフェースは二つメソッドを追加。 ユーティリティインターフェースは一つメソッドを追加。 4.4.3 章、4.4.8 章 引数を追加 4.4.17 章、4.4.18 章、4.4.31 章 新規メソッドを追加 4.5.6 章 修飾語ジャンプアイテム構造体のメンバーを追加。 4.5.7 章 キーワード構造体を追加。 4.5.15 章 検索結果構造体リストを追加。 5.8.5 章、5.14.5 章 病名(修飾語)ツリーのイベントを追加 5.8.5 章、5.14.5 章 病名(修飾語)ツリーのイベントを追加 5.9.4 章、5.10.4 章、5.15.4 章 ListViewSearch メソッドのパラメータ(同義語区分)を追加 7.5.2 章、7.6.2 章、7.7.1 章 キーワード展開時、処理の概要に補足説明を追記

バージョン	第 1.8 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 05 / 09
内容	7.2 章、7.5.2 章、7.6.2 章 無効区分「9」のものも展開しないように変更

バージョン	第 1.9 版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2002/11/13
内容	<p>7 . 1 章 画面構成の画面レイアウトを変更 バージョンに入力する内容の変更（展開マスタのバージョン 標準病名マスタのバージョン）</p> <p>4 . 2 章 基本インターフェースに 1 9 ~ 2 2 を追加</p> <p>4 . 4 . 1 9 章 互換情報検索を追加</p> <p>4 . 4 . 2 0 章 コーディング注意情報を追加</p> <p>4 . 4 . 2 1 章 コーディング注意情報の初期化を追加</p> <p>4 . 4 . 2 2 章 病名キーワード AND 検索を追加</p> <p>6 . 4 章 コーディング注意情報マスタを追加</p> <p>8 . 4 . 5 章 コーディング注意情報の構造体を追加</p>